戦国狐

11

せんごくようこ

水上悟志

せんごくようこ

戦国妖狐

水上悟志

11

contents

3 第58回 鼠幻術遊園山

31 第59回 要求

59 第60回 千夜と神雲

87 第61回 千夜の8年

117 第62回 幽界の龍

145 第63回 左道

元亀4年(1573)
某日某所
コトコト

第58回 鼠幻術遊園山

話も長くなってきたので
これまでのあらすじ!!
昔々あるところに
(永禄7年(1564))
人間嫌いで
間になりたい
仙道の少年
迅火と
迅火
たま
人間好きの
妖狐・たま
二人の義姉弟
が居た!!

迅火は霊力進化の暴走の末

ギー

第一部・主人公

地枯らしの神獣千本妖狐へと成り果てるが

突如出現した謎の集団・無の民にさらわれてしまう!!

無の民は2つの「霊力特異点」を探していた!!

一つは千本妖狐・迅火!!

千夜(第二部主人公)

そしてもう一つは千の闇を体に宿す霊力改造人間・千夜!!

千夜は無の民を撃退するが逃してしまった!!

時は流れ元亀4年(1573)!!

ずどーん

うみ

霊的特異点を諦められない無の民は千本妖狐・迅火を伴って海上に出現する!!

なう(ちん)

月湖(つきこ)

千夜

たま

迅火はそこに結界を張り閉じこもった!!

おーい

迅火を取り戻したい
たまは 島の結界を
破れる力を持つと思われる
山神・オオヤマミツチヒメ
の下へ 協力を求めて
向かう!!

山の神

やま

千夜もそれに
同行!!

やま

千夜の父・神雲は
山の神に囚われて
いたのだ!!

神雲

父を助け
たい千夜!!

そんな千夜に
占い師・八卦猫は
言った!!

「無の民を完全に
倒せば暴走したままの
千本妖狐は
野放しになる!!」

「そしてそれを
止められるのは
千夜しかいない!!」

「二人は戦う
運命なのニャ!!」

第二部公人

VS

第一部主人公

ドーン

そんなこんなで
沢山の問題を
抱えたまま
千夜達の旅は
今日も続いて
いた!!

恭山
(案内人?)

はっはっは

目標その1!!
山の神に結界破りの協力を取りつける!!

目標その2!!
父の救出!!

山の神は強い上に気分屋!!
話は通じるのか!?

どーしよっかなー

目標その3!!
無の民との完全決着!!

彼らにも事情があり霊的特異点の獲得に必死!!
簡単に諦めないぞ!!

メラメラ

まいりましたー

目標その4!!
千本妖狐との対決!! 勝利!!

目を覚ませ。

強いぞ
怖いぞ
正気じゃないぞ!!

キミー

千夜は思った

忙しい!!

あらすじおわり!!

それでは本編をお楽しみください!!

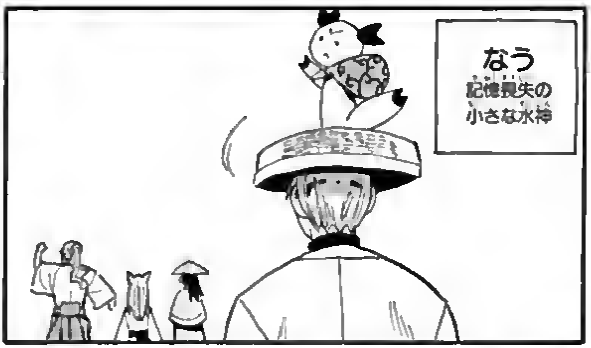
第58回 鼠幻術遊園山

おっ
いい色の山だねえ
僕の椅の次に
今日中に越えようか
ずん
ずん
おおい 旅の方
あの山に入るのはおやめなせえ

ん？
妖狐・たま
千本妖狐・迅火の義姉
最近ネズミの化物が現れて旅人を食ってるみてえでよ
回り道をした方がええ
ネズミの間…ですか…
女剣士・月湖
千夜の幼馴染
それに時々騒がしくてなー
どうも化物は集団みてえだよ？
あぶねえよ？
ま 多少多くても…
忠告ありがとう輝く頭の人
だがぼくらはそういうの得意でね
亡霊・黒月斎
迅火の師
山神の末席・泰山
さまよえる地神
（じじい憑き）

千魔混沌・千夜
量的特異点の持ち主
とっつかまえて説教してくれるわ
わっはっは
はっはっは

ほんまに知らんぞー


なう
記憶喪失の小さな水神

なんだこの匂い
うへ

匂い？
うーん
匂わんか？
へんな
え？
します？
珍しい花でもあるのかな？
はっはっは。

わずかにくせーなう

鼻の利く妖狐には無視できん程度にはイヤな匂いだ
とっとと抜けてしまおう

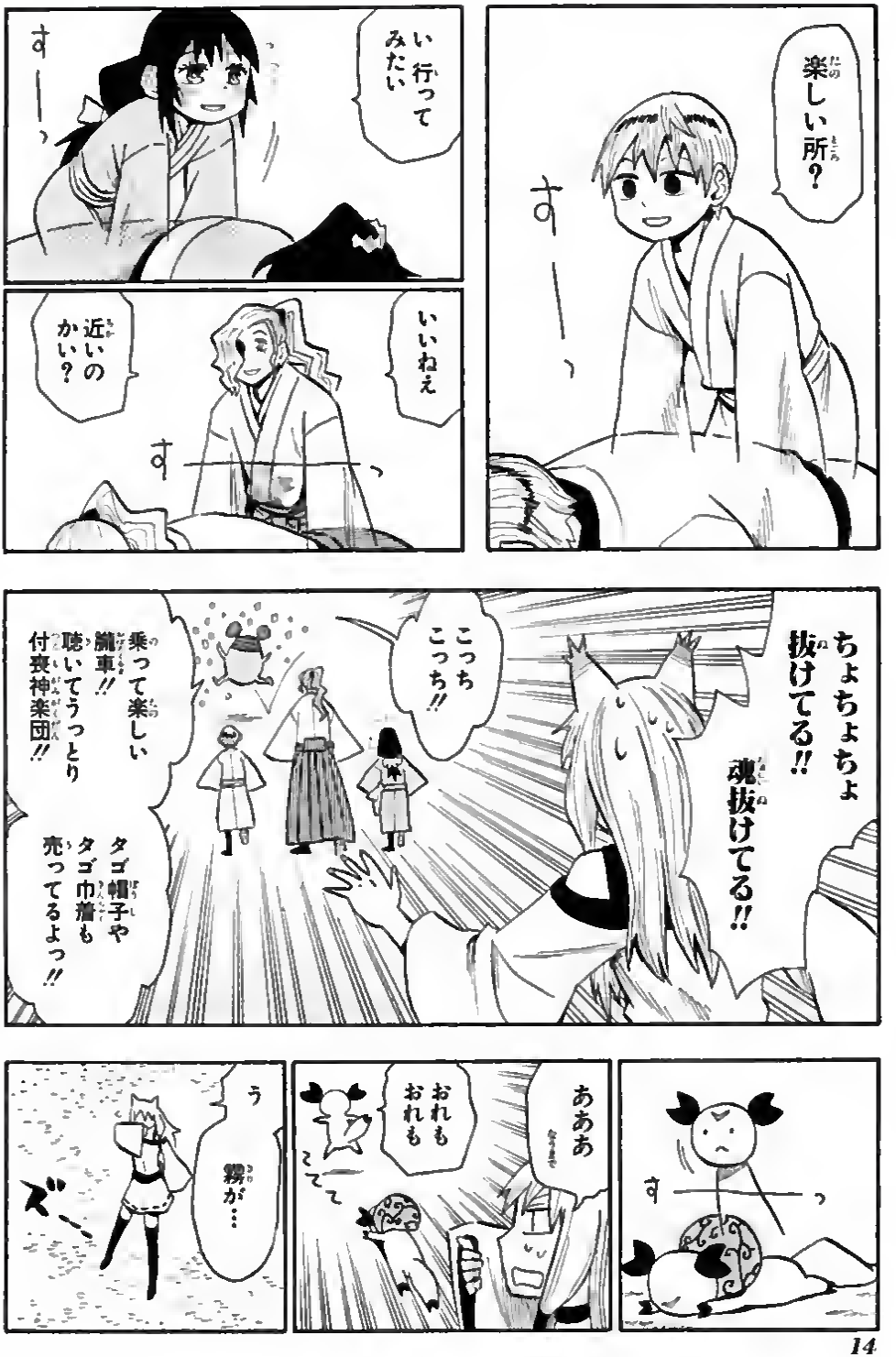
出てこねーなネズミの奴
泰山や千夜の霊力に恐れをなしているのかもしれんな
月湖の腕も大したものだし
並の闇では束でもこの三人には到底…

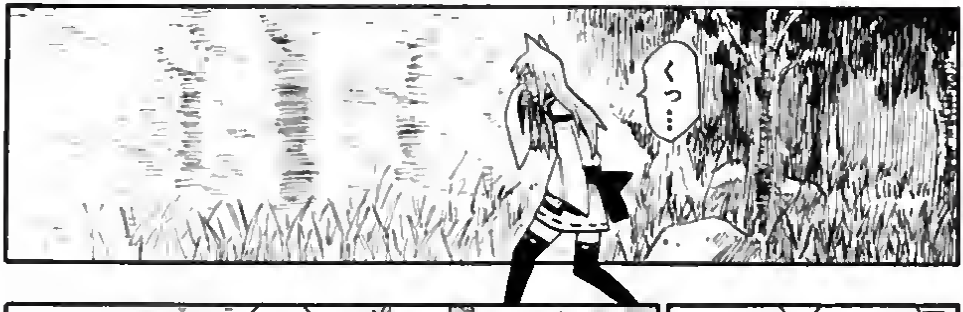
ばたーん!!
んなあああ!?
千夜!?
月湖!?
まさか
この匂い…
催眠香か!?

バッ
ぴょーん
ぴょーん
!!
何か来る!?
ぴょーん
ぴょーん

よーお前ら元気か!?
楽園案内人のタゴ様だっ!!
今日はおれがたんのし〜い所へ連れていってやるぜっ!!

はあ!?
ぶふーッ!!
ごほぐほ
ぐえほ…
うっ…
ばたっ
なう!?
うーん…
千夜!!
気付いたか!?


楽しい所？
すー
い行ってみたい
すー
いいねえ
近いのかい？
す
ちょちょちょ抜けてる!!
魂抜けてる!!
こっちこっち!!
乗って楽しい旅車!!
聴いてうっとり付喪神楽団!!
タゴ帽子やタゴ巾着も売ってるよっ!!
す
ああああ
おれもおれも
う
寒が…


くっ…

しかし
香を使った
幻術か…
それらしい霊気が
ほとんど感じられ
ないが…

あー
師匠!?
なるほど使用霊力を
極限まで抑えて感知され
づらくし その分足りない
威力を香とここまで道を
歩かせ時間をかけることで
補っている
よく考えられた術だと…

低級な
人喰い妖怪と
思って油断した…
やるな
ネズミめ
恐らく霊力
自体は大した
ことはないだろうが
幻術使いとしては
おれより
上手…!!

あはは
ゆー
くそ
行って
みるか

とっとと術者を
倒して千夜達の
魂を戻さねば…

!!

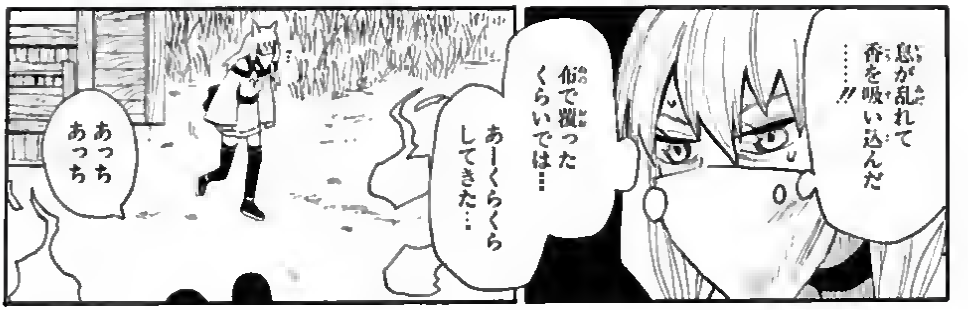
な
なんだこのバカ騒ぎは…
そういえばあいつどっかで見たことあるな…
すると闇達は幻術でなく実体…？
あるいは闇達自身も幻術に囚われているのか…？
しかし泰山まであっさり幻術にひっかかるとは…
あいつ本当に地神か？
あいつを捕まえた野神が凄かったのではなく泰山が特別間抜けだったんじゃ…

とにかく術者を探さねば…フンイキに呑まれておれまで騒ぎに加わってしまわんうちに
嗅覚は使えんから聴覚で…
…
どんちゃんどんちゃん

うるせー!!

なにすんだー!!
演奏のジャマたあ太え奴!!
だだだだだだ

どこ行った?
あれー
はあはあ
ぐいかん…


息が乱れて
香を吸い込んだ
……!!
仙で鍛った
くらいでは…
あーくらくら
してきた…
あっち
あっち

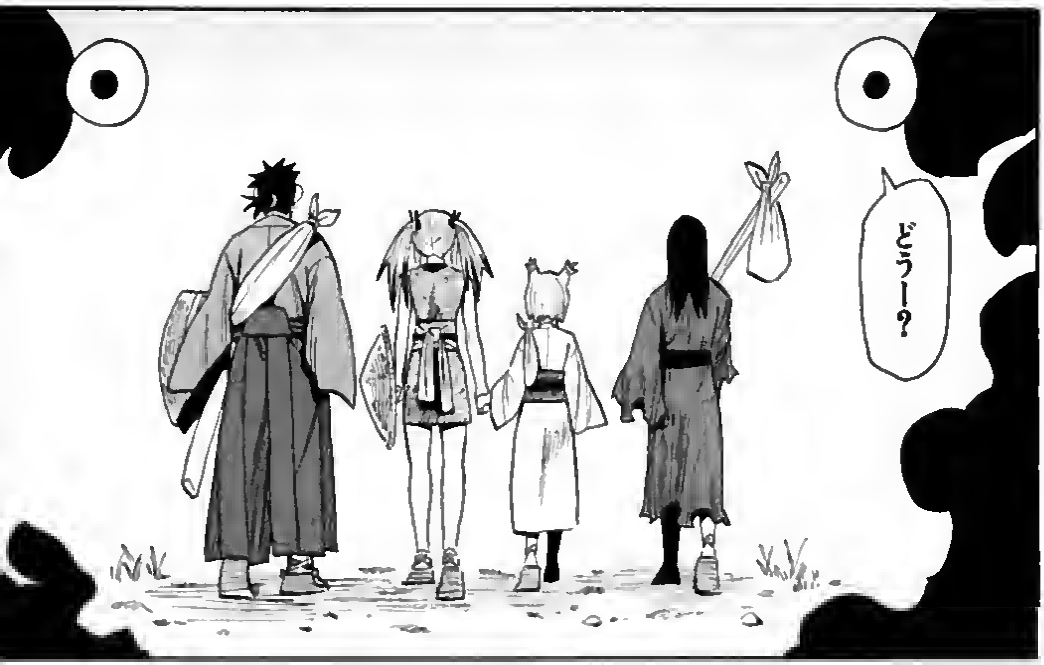
あっちにも
なんかある
わあ
行こう
行こう
おれの苦労も
知らんで満喫
してるなお前ら…
た
た
た
た

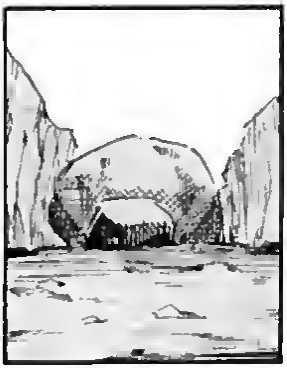
ぐ……
がく

恐らく敵は
甘い幻術で
心を奪い
魂を喰う開…
ここでおれまで
やられたら…

おねーさん
おねーさん
楽しい絵変わり
物語はいらん
かねー
ボ
ボ
ボ
……
…鬼火…?

おねーさんの中の思い出を覗ける魔法の鏡だよー
見て見てー


どうー？

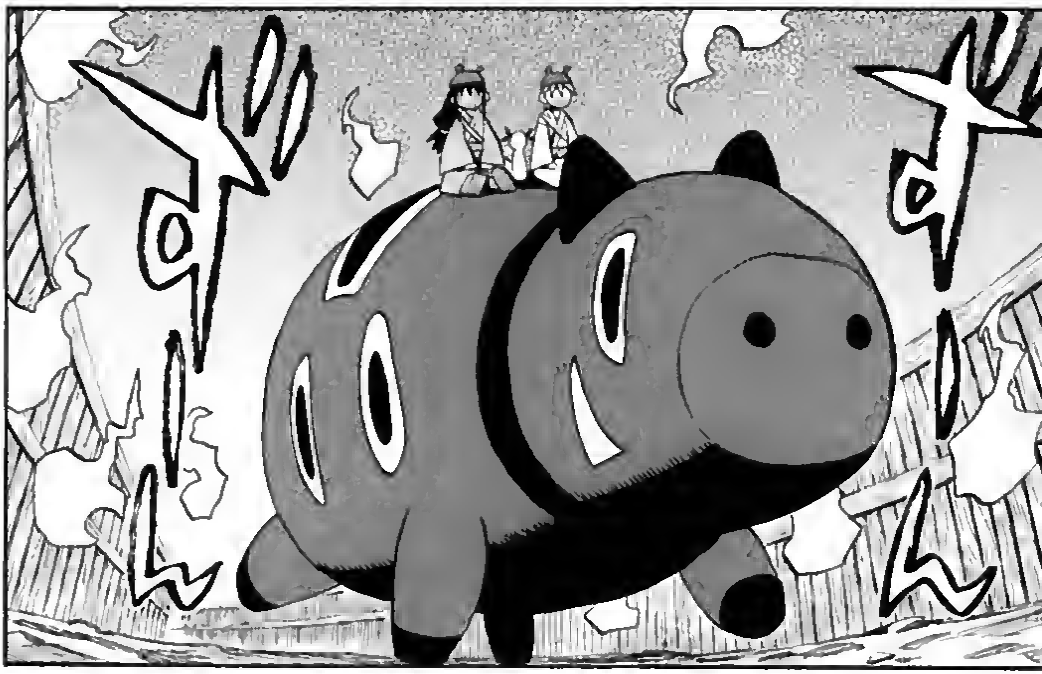


しっかりせんか
おいおい
ゴッ
……！

ドサッ
……

う…
泰…山…？
いよっ
パ パ
泰山が二人…？
……!?
幻術は波のようでもある
油断したりヘタな抵抗をすれば飲まれるが
逆らわず上手く乗れれば楽しみながらかわすこともできる
心に波乗り板を持て
波に…乗る…？
ま 詳しいことはお師匠に聞け
じゃ わしはちょっと遊んでくるから
せいぜいゆっくり術者を倒しとくれ
あ そうそう
へんなネズミがあっちの方におったぞ
んじゃーの
……
ぐ…

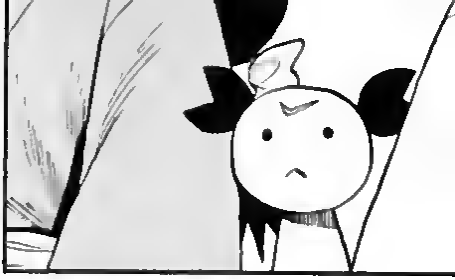
あっちか…
どんちゃん
どんちゃん



ずーん
ずーん
うん…
すごいね千夜

昔…おれこれ欲しかったんだよ
ぶーんぶーん
らららーらーらー
わあ…
月湖…
…楽しかったけど
そろそろ行こうか
……そうだね
今日中に山越えなきゃ

……



だありゃあああーッ!!

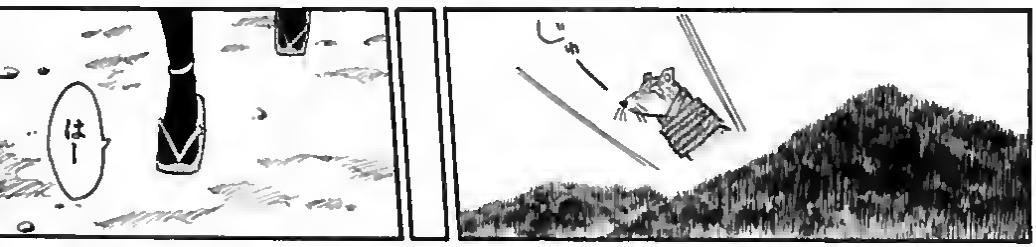
はっ!?
ガバッ
……
わー……
あれ?
…起きたか
じゅー…
ガ
H
ずる
ずる
あっ
たまさん
思い切り
楽しんだよう
だなお前ら
ほれ なんか
見たことある奴
これ
知り合いか?
こっちは
幻術の術者だ
どさっ
どさっ

はっ!?
おれは一体なにを…
よく会うなー
また捕まってたの?
うわっ千夜!?
…あれ!?なぜおれの夢のタゴ印品を!?

夢の?
あっ消えた
これも幻術?
ああっ…おれの商品展開の野望が…
お前どこへ向かってるんだ

……
じゅー
ネズ公このヤロー!!幻術教えてくれるって言ったのによくも惑わしてコキ使ってくれたなー!!
さてこいつをどうするかな
よー妖狐のねーちゃんよう
ん?

そいつの処分なら
おれ達に任せな
楽して魂が食える
とか言ったくせに
よくも分け前無しで
いいように使って
くれたな
あこいつらも
被害者だったか
やはり

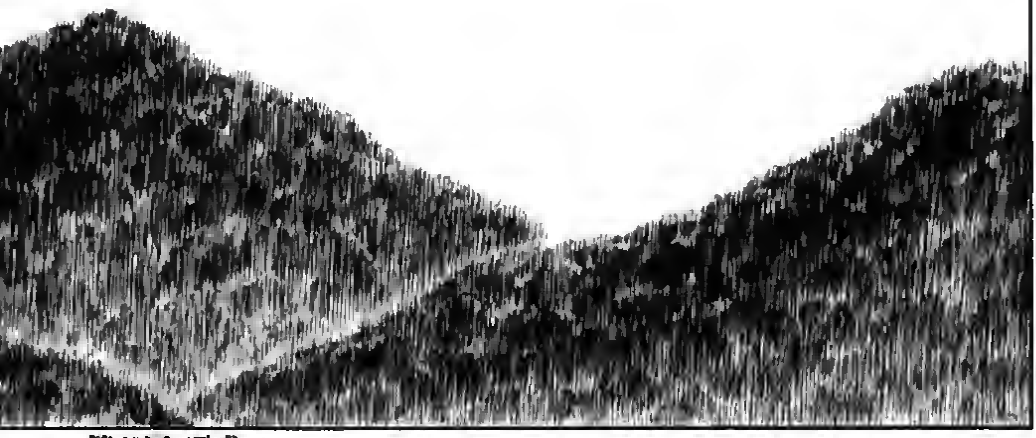

じゅー
はー

油断したな!…
でも楽しかったね
おい泰山
お前さっきなんか変じゃなかったか?
え? ネズミの幻術?
ひっかかってないよ!!
居眠りをして夢を見ていただけさ
はっはっは
もうろうとしてたのでよくわからんが……

……
はー
くそ…
それにしても
やられたな…

カー

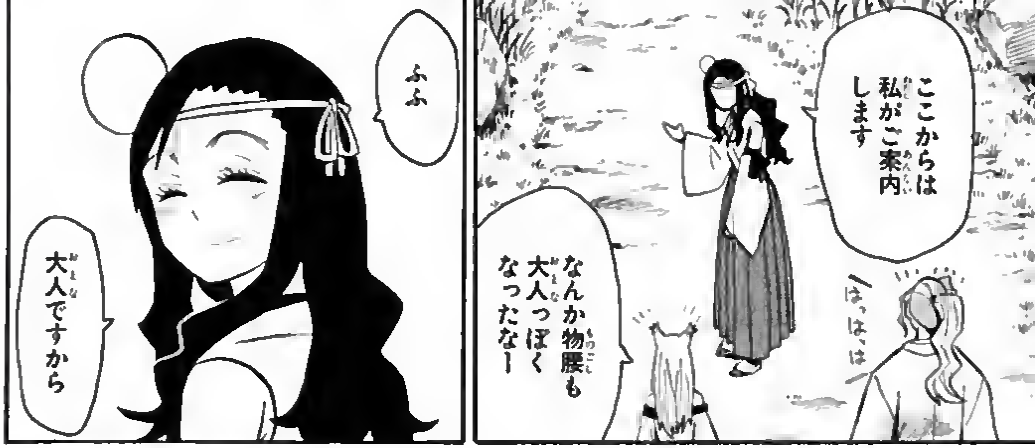
ん!?
バサッ
もうすぐ
泰山達(たいざんたち)が
ここへ着(つ)くって?
第58回／完



第59回 要求

第59回 要求

ん？
あれは…
お待ちしておりました
ぺこり
お帰りなさいませ泰山様
…お久しぶりですお姉様
り
りんず
はっはっは
ただいまー
おおー
でかくなったな――!!
バン
バン
おかげさまで

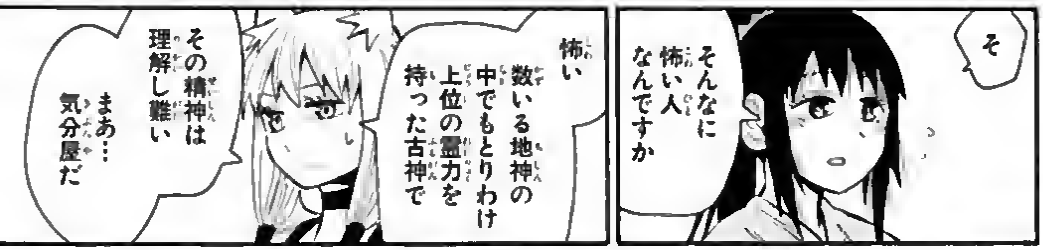

ここからは私がご案内します
はっ、はっ、はっ
なんか物腰も大人っぽくなったなー
ふふ
大人ですから

あの人が「りんず」さん…
超高等霊術 魂寄せの使い手…
わー 巫女さんだー
はじめて見た

前日の晩
――さて 明日には山の神のもとへ 赴くが

その前にひとつ確認したいことがある
千夜は 山の神に捕えられている父を助けたいと言うが…
！
具体的にはどうするつもりだ？

おれは山の神に頼みごとがあって来ているわけだが
交渉中にこっそり救出活動をされてはお前を連れてきたおれの立場が怪しくなる
交渉決裂するだけならまだしも
ヘタに怒りを買えば最悪殺されかねん

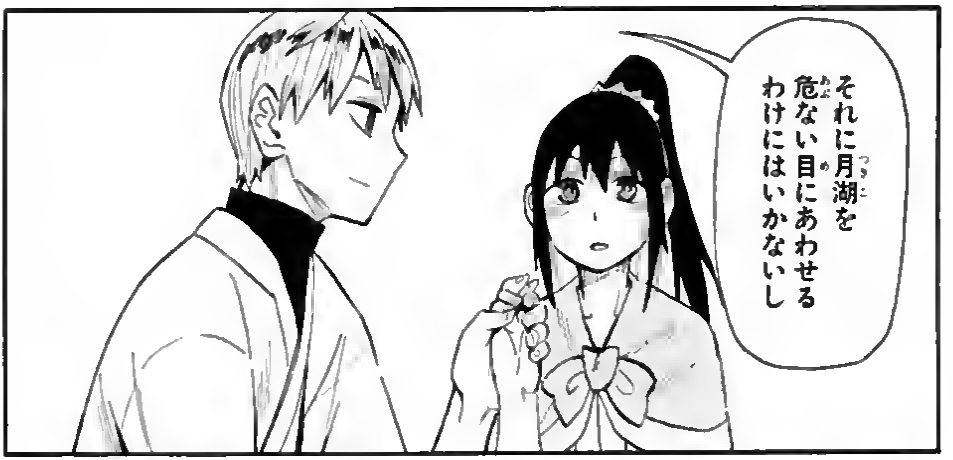

そ
そんなに怖い人なんですか
怖い
数いる地神の中でもとりわけ上位の霊力を持った古神で
その精神は理解し難い
まあ…気分屋だ

…そうだな
金棒持った赤鬼がひよこを前にして
そのまま食ってもいいし
育ててみてもいいし
何の意味もなく殺してもいいし
ぴよぴよ
……
…などと特に考えを決めてない状況でぼんやり眺めてる姿を想像してみろ

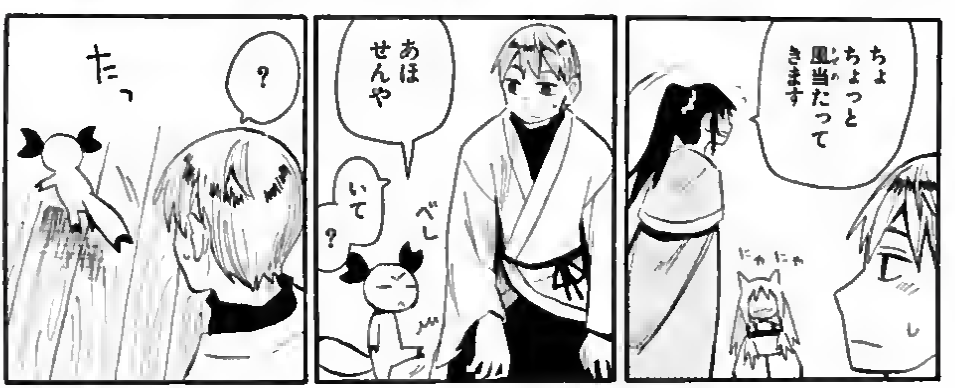
あはは
わかるわかる
たしかに姉上にはそんな所がある
姉上？
…おれは…

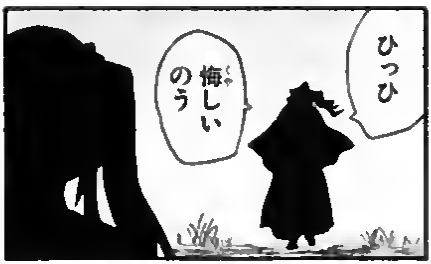
正面から頼みます
「封印されている父を
解放してくれませんか」と
…断られたら？
…今回は
諦めます
時期を改め
もう何年か
修行したら
…尊還に
挑みます
……
そうか
……
…千夜は本当に
それでいいの？
せっかくここまで
来たのに…
私は千夜を
お父さんに
会わせて
あげたい

…ありがとう 月湖
大丈夫 いつでも来れるよ
でも…


それに月湖を危ない目にあわせるわけにはいかないし

うわっ キサ
えっ
かっこいいねぇ ぼくの次に


ちょ ちょっと 風当たってきます
にゃにゃ
あほ せんや
いて？
べし
たっ
？


ひっひ
悔しいのう

千夜はお嬢ちゃんのことを
戦力外じゃと

千夜はそんなつもりじゃねー
月湖が大事なだけだ
うんわかってるよなう
大丈夫

こんなにすぐ連ってきて不審がられませんでした?

わしを誰だと思っとる
誰にも尻尾など掴ませんわい

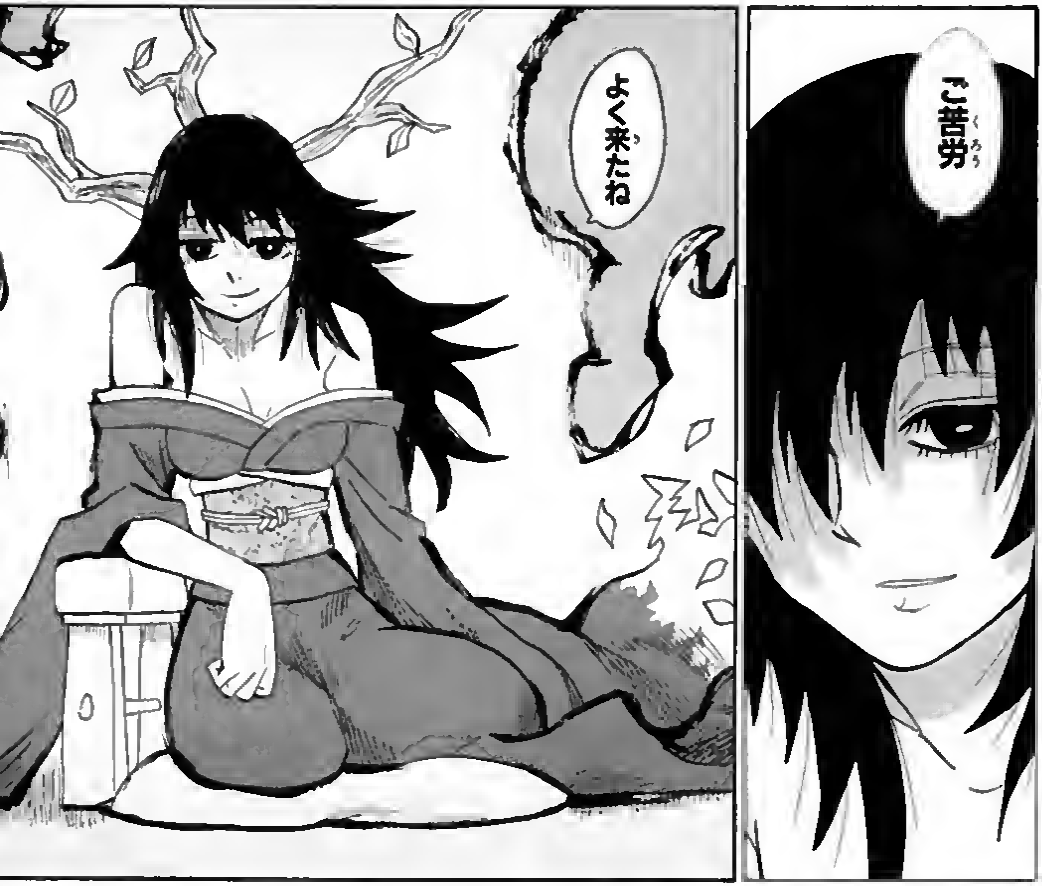
では
今晩中に
仕上げるかの
あらゆる
力関係を
ひっくり返す
魔法のズルを

ざわ…

ま一確かに
8年も経つしな
そりゃ落ち着き
もするか
お姉様も
変わりましたよ
そうか？
…そうか…

そうそう
真介さんは
お元気で？
それはこいつらの
方が詳しい
千夜と月湖と
なうだ
千夜です
はじめまして
なうなう
はじめまして
月湖です
りんずです
よろしく
千夜くんとも
まあ はじめまして
みたいなものですね
真介さんに
助けられている所で
少し居合わせた
だけですし
そちらの
月湖さんは
えーと…
あ私
しんすけ
せんせいの弟子
です
せんせいは
元気ですよ
それは
なにより
お弟子さんとは
真介さんも
立派になられて
……
……
酒浸り
だがな

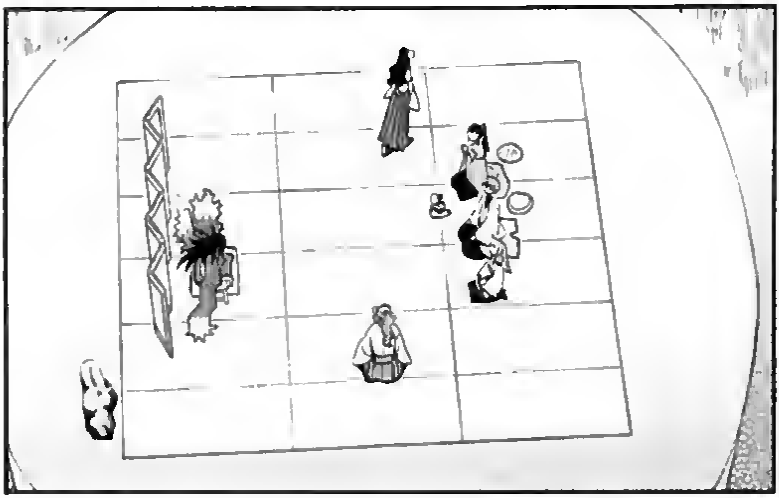
ヌシ様
御一行を
お連れ
しました

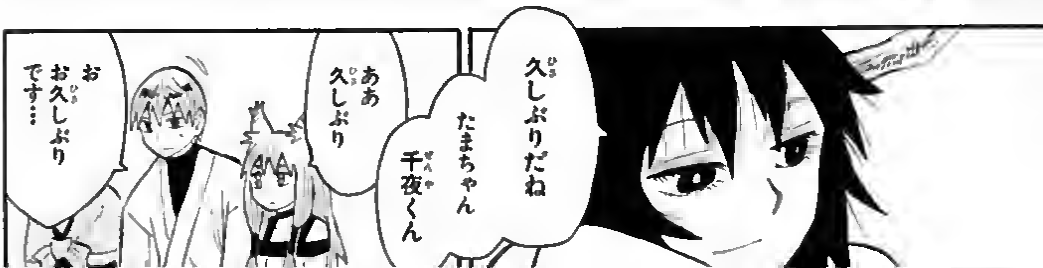

よく来たね
ご苦労

この人が…山神
オオヤマミツチヒメ…!!

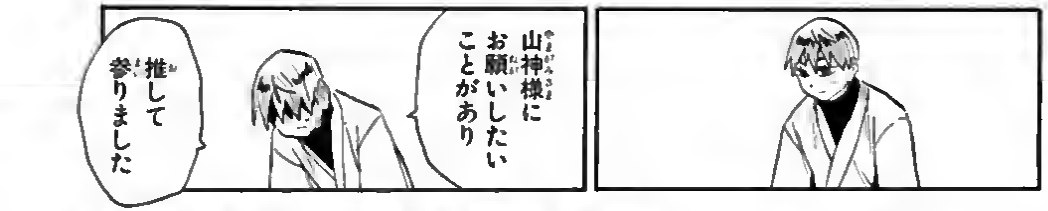
なんか凄い神々しい霊気…
千夜とたまさんはこんな存在と交渉を…？
ただいま帰りました姉上
おかえり占いはどうだった？
一度ここに戻るが吉だそうで
そうここに何か報せが来るのかな

まあみんなお座りよ
りんずお茶
かしこまりました




久しぶりだねたまちゃん千夜くん
ああ久しぶり
おお久しぶりです…

それにしても
千夜くんはかつてぼくに危険視され殺されそうになってるけど
よくここに来れたね
改めて襲われるとは思ってないのかい？
……!?

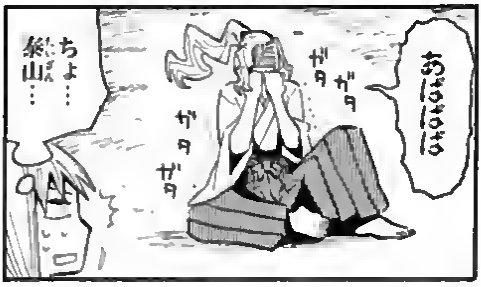

山神様にお願いしたいことがあり
推して参りました

ほう？
お願い？
きみは8年前
ぼくの頼みを断って
逃げたろう

断怪衆の僧兵たる者
土地神とはいえ闇の手下
になど
なれませぬ!!
ぐぐ…

お願いなんて
できる立場かな?
びくっ

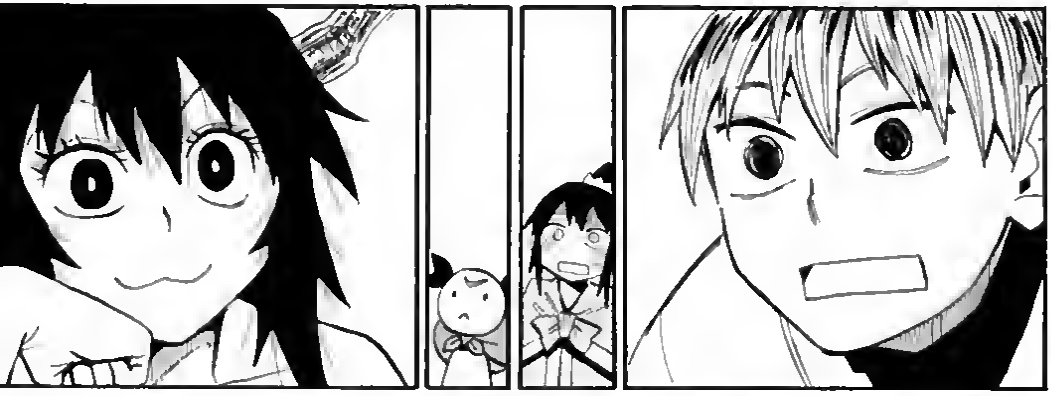
からかってる
だけだ…!!
本当に殺す
つもりなら
追手を差し向ける
なりしていたはず
話を聞く気が
無ければここまで
通しもしない…!!


あばばばば
ガタ
ガタ
ガタ
ガタ
ちょ…
泰山…

お願いする他
ありませぬ故
どうか

8年前あなたに封印された父・神雲を
解放していただけませんか？

あっさり
うんいいよ



や
裏山も関係あるよ
お前ビビりすぎだろ関係ないのに
姉上もお山が悪い
はー!!
はー!!
あー怖かったー

泰山が世話になったね 千夜くん

ぼくからもお礼申し上げるよ

ありがとう

……!!

泰山様を狂神化から戻した件でしょうか…?

それならそもそもおれのせいで無の民は…

無の民というのかい彼らは

泰山の油断や未熟さが彼らに付け入らせたきみらに責はない

泰山はおしおき

ひいいい!!

ごめんなさいごめんなさい

ねーちゃんごめんアレだけはカンベン!!

……

だがちょっと条件がある

神霊の断怪衆の辞職と以後いかなる組織にも属さぬこと

ごめ

ぶっ

それは…

ぼくがかつて
きみを危険視
していたのは
きみが組織人
だったからだ

他者がきみの
力の使い道を
決めるのは
良くないと
思ってね

ぐりぐり

今みたいにきみが
きみの判断できみの力を
使う分には自然の理に
反さない

神霊も同様
他者が使い道を
決めるには
強すぎる

ぐりぐり

にょきにょき

まあ…現在
野禅抜きで
再編された
断怪衆の頭目は
悪人ではなさそう
だけどね

父は頭の
固い人で…

説得できなきゃ
再封印

それが条件

…善処
します

でも

ありがとう
ございます

良かったね
千夜

きっと千夜の
言うことなら
お父さんも
聞いて
くれるよ

良かった
なう

うん
ありがとう
月湖
なう

まずは第一関門突破…
ふー
本題はここから…!!
オオヤマミツチヒメ もう少し話があるがいいか?

おれも頼みがあって来たのだが…
あぁあぁあぁあ
ギリギリギリ
えー?
やだー

今度は聞きもしないで…!?
な
何を頼むか知っているのか?
どーせ
迅火くん関係のことでしょ?

なんか島ができて結界が張られたのは調査で知ってるけど
ぎり
あがががが
ぎり
ぎり
えーと結界破ってくれとか?
糸山様がえらいことに…
中のじじい大丈夫か…

はい
お茶どうぞ
どうも
そうだが…
断るよ
それにたまちゃんはもうぼくに支払える対価がないでしょ
……!!
まさか
忘れてないだろうね?

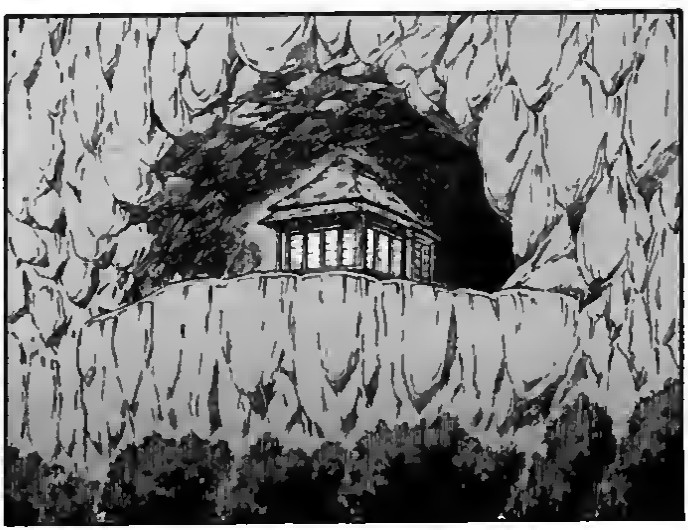
たまちゃん達が龍・神雲を
退けるため ぼくを利用した時さ
代償にきみか迅火くんの
魂をもらうって言ったよね
迅火くんは
あんなことになって
取り立てが面倒
だから
たまちゃん
きみの魂をもらおう
かと思ってるん
だけど

さて
いつ
もらおう
かな

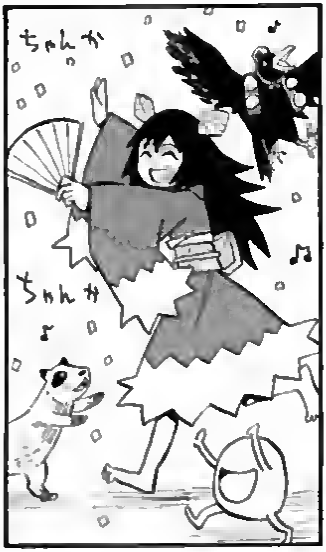
怖れながら
ヌシ様
！
今日はせっかくの
お客様ですし
厳しいお話は
おもてなしの後と
されてはいかが
でしょう？

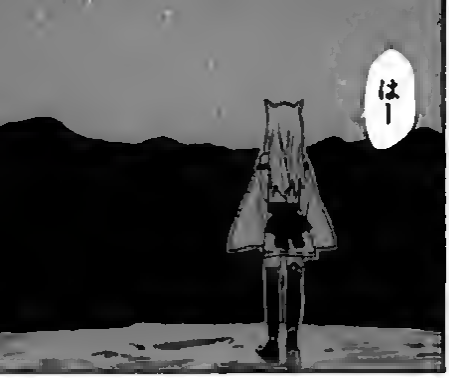
ふーむ
それもそうだね
どこ
えんかいだー!!
えんかいだー!!

ぐったり
はあ
はあ



山の神の望みは
秩序と安寧…
しかし
おれの望みは
この地の神々に
とって災厄の
解放に等しい




はー

今日はここに泊まってお行きよ
神雲の解放とかは明日ね
たまちゃんの話はその後ゆっくり

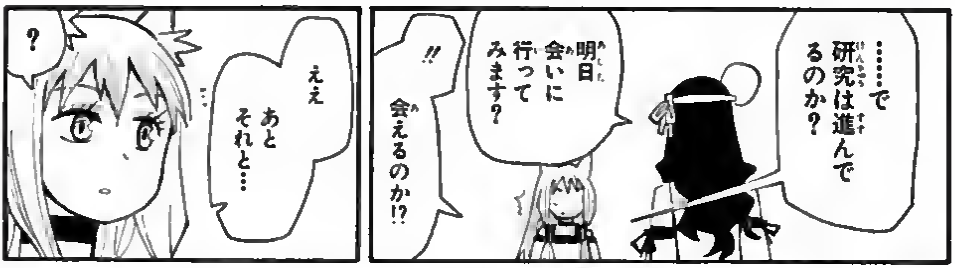
ゆっくりと言われてもな…
…おれには支払い能力無しか…
8年前泰山解放のため断怪衆本山までりんずを連れて行った件はそんな恩にはならんかったか
いや…あの時は利害の一致だったから貸し借りなしか…？

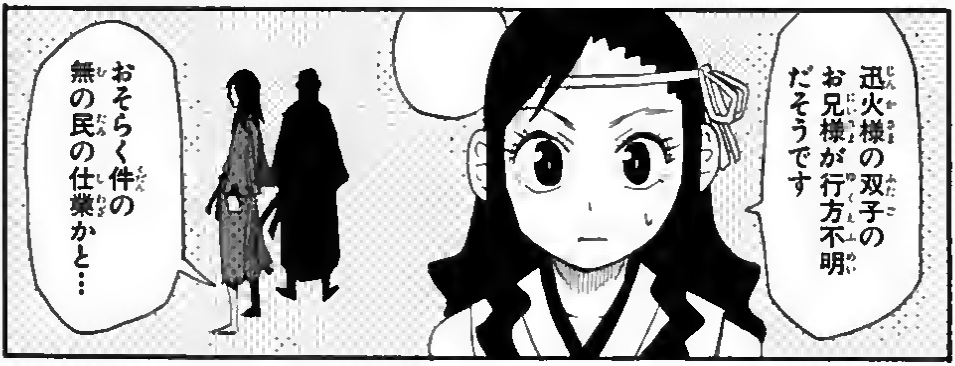
ご心配なくお姉様
ヌシ様もあれで色々お考えですから
りんず…！
ざっ
…なんだ考えって

たとえば
迅火様を元の人間に戻す方法とか
!!
なに？
私達にはちょっと難しいので研究者を雇って支援してます
研究者!?
そんな研究…
!!

まさか
野禅…!?
まさか
生きて…
ええ
8年前の
戦いの後
くずのはさんと
一緒に捕えた所
「おれがしている
闇の人間化の研究には
迅火を元に戻せる
可能性がある」
「おれの頭脳は
三界の宝だ」
「殺すと
もったい
ないぞ」
「ほー ならば
その価値
示してみせよ」
「示せなきゃ
ちょっとずつ
ちぎってくよ」
…なんてやりとりが
ありヌシ様は
野禅さんの図々しさが
気に入ったご様子で
現在は某所
監視下にて
目下研究に
励んでもらって
ます
ちょっとずつ
ちぎるって
なに…
あと
くずのはも
無事だったか

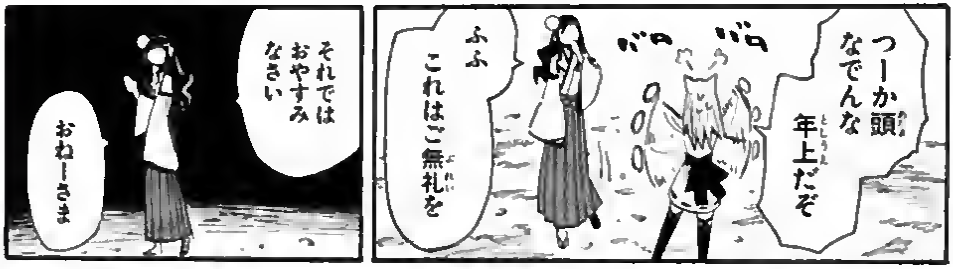
しかしそれ
山の神は
なんも考えて
ないだろ
泳がせてる
だけで
あと雇う
っていう
のかそれ
うーん
まあ迅火様を
正気に返す見通し
が付かない限りは
結界破り
には賛成
できない
とお考えの
ようで
……


……で
研究は進んで
るのか？
明日
会いに
行って
みます？
!!
会えるのか!?
ええ
あと
それと…
？


迅火様の双子の
お兄様が行方不明
だそうです
おそらく件の
無の民の仕業かと…

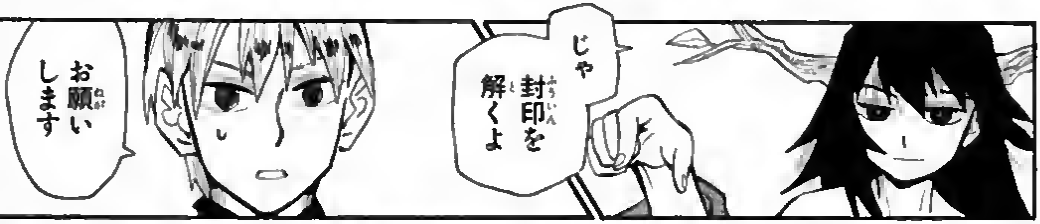
……!!
妖精眼の双子は
命を共有している…
迅火の弱点のような
ものだし…当然の流れか…
！

…私にできることがあればお手伝いします
そんなに落ち込まないで下さい
なでなで
ああ…

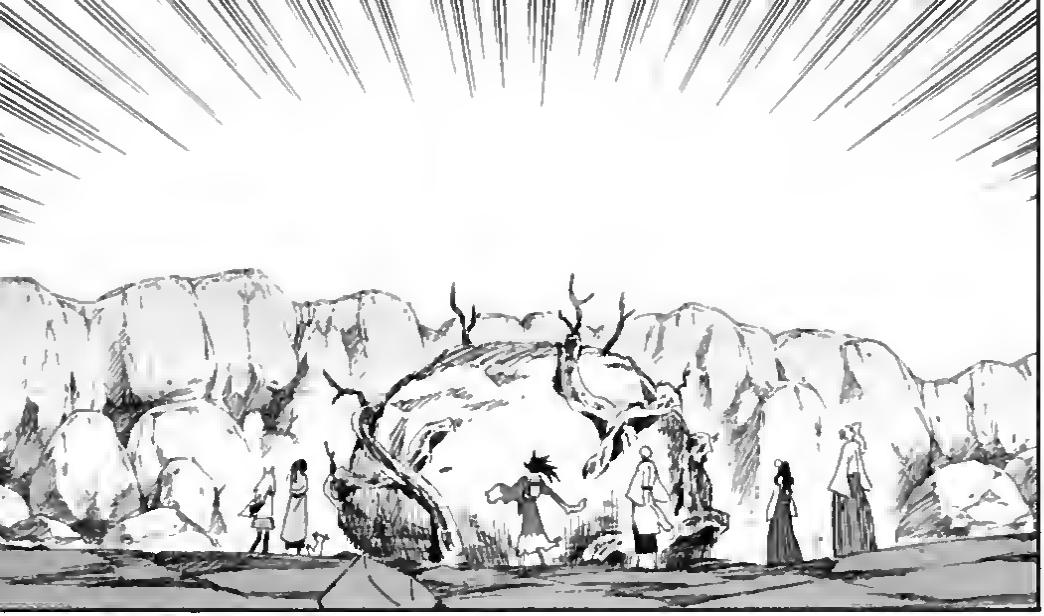

つーか頭なでんな
年上だぞ
ふふ
これはご無礼を
それではおやすみなさい
おねーさま

おやすみ
…ありがとう

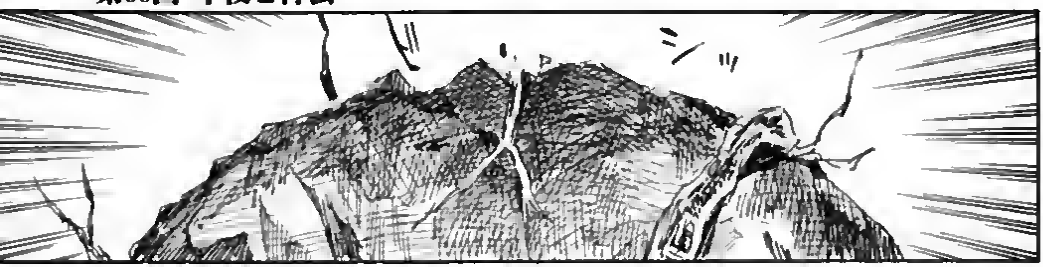
……

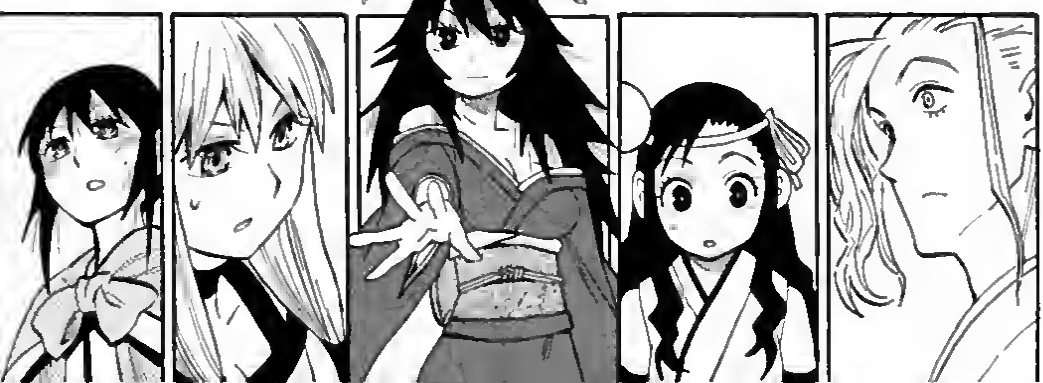

じゃ封印を解くよ
お願いします

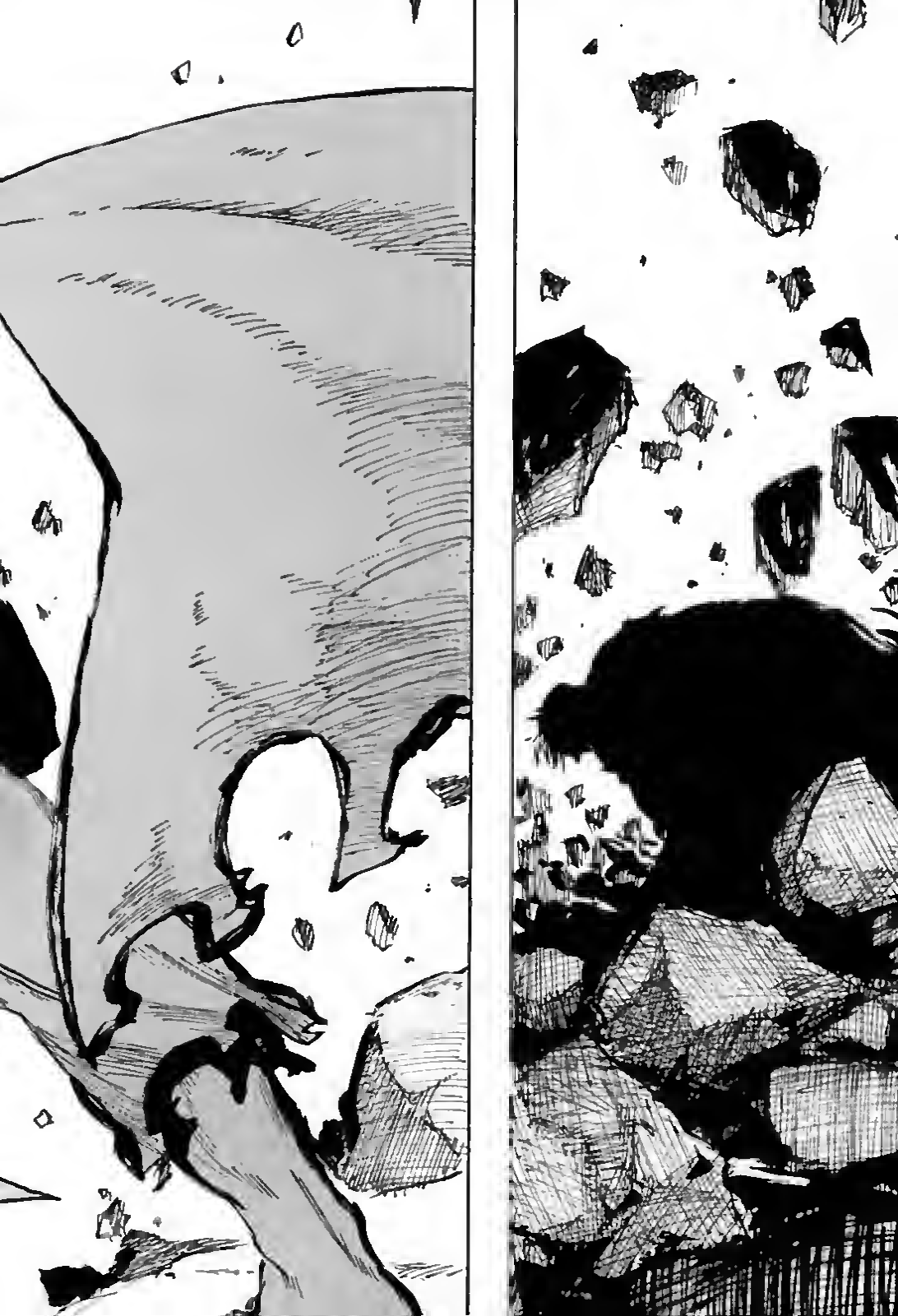
第59回／完



第60回 千夜と神雲







第60回 千夜と神雲

父上…!!
あの人が千夜の…
でけー
龍の神雲…!!
かつて断怪業の最強の刺客として
おれと迅火を殺しに来た男…!!

でかい人ですねえ
うん相変わらずでかいなあ
千夜くんもああいうカンジになるんですかねえ
千夜のお父さん…
うわこっち見た
でけー
変装してきた方が良かったかな
……
千夜
！
何年経った？
…父上が封印されてから8年経ちました
8年…

お
一目で千夜とわかるか
父と呼ぶな
師と呼べと言ったはず
！
それに
何故妖狐たまと一緒に居る？
げっ
あその…
神雲の断怪衆の辞職と以後いかなる組織にも属さぬこと説得できなきゃ再封印
……
にゃにゃ
その
おれは…
おれ？
……
おおれって言っちゃいけない気がする
なんで？いいとこの子なの？
千夜…

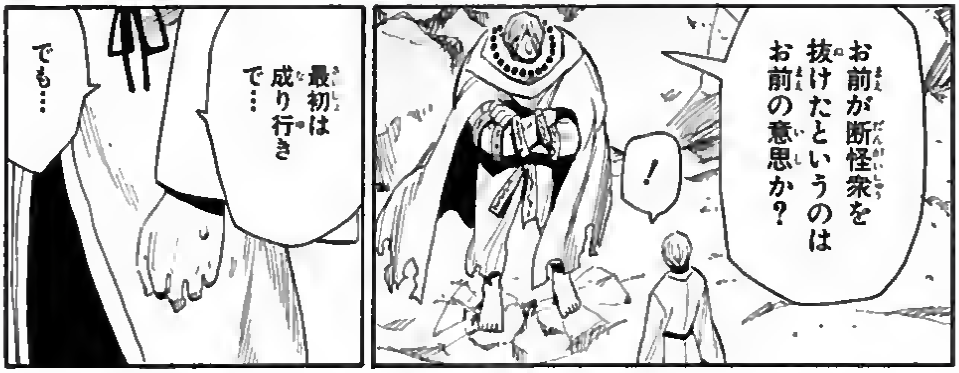
千夜……
がんばって……//

今のおれは
断怪衆の者では
ありません
父上にも断怪衆を
抜けていただきたい

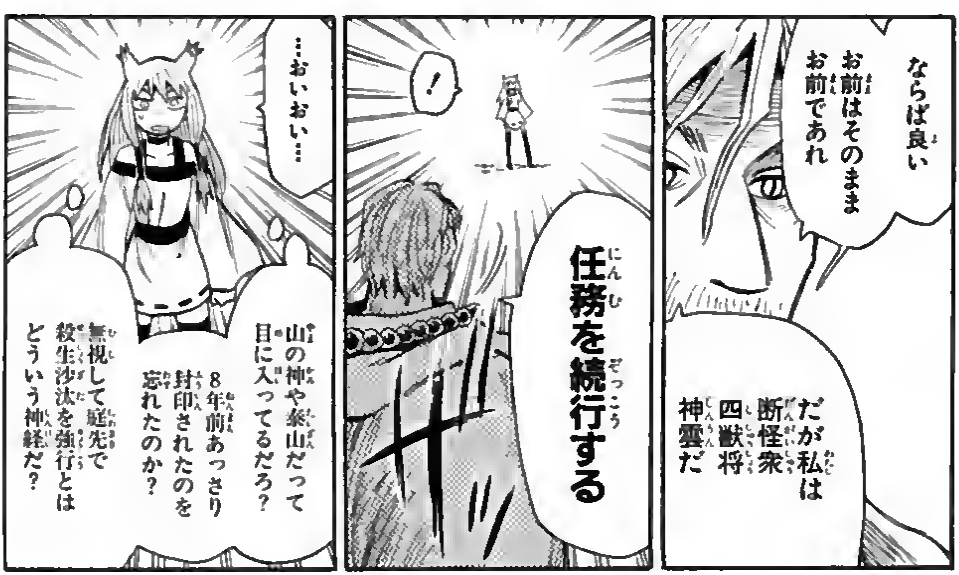
!!
8年の経緯の
説明もなしに
いきなり
本題!!

ざ、

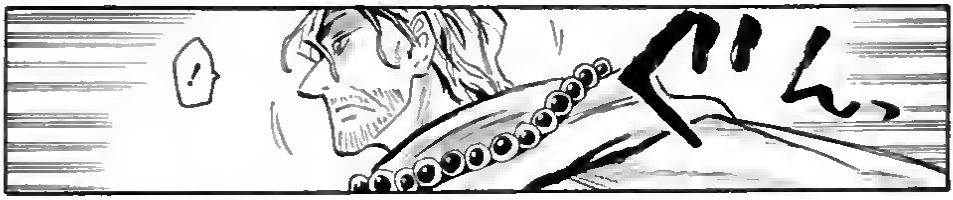
なぜだ
……その…


お前が断怪衆を抜けたというのはお前の意思か？
！
最初は成り行きで…
でも…

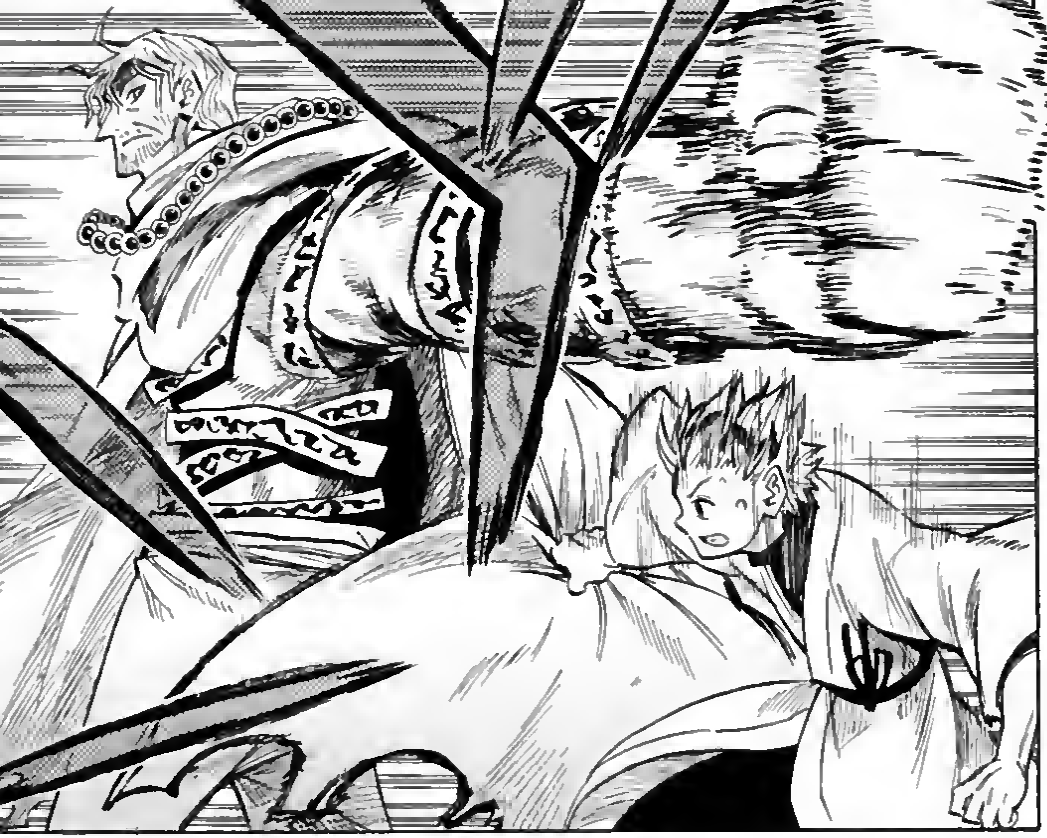
記憶を取り戻した後も断怪衆に戻らなかったのは
紛れもなくおれの意思です
……


ならば良い
お前はそのままお前であれ
だが私は断怪衆四獣将神雲だ
！
任務を続行する
…おいおい…
山の神や泰山だって目に入ってるだろ？
8年前あっさり封印されたのを忘れたのか？
無視して庭先で殺生沙汰を強行とはどういう神経だ？

やっぱり!!
こっちは
こっちで
こういう奴か!!
助けてほしい?
たまちゃん
あーあ


!
ぐいっ

いやです
離せ



何ゆえ任務にこだわります!?

父上にとって断怪衆とはなんですか!?

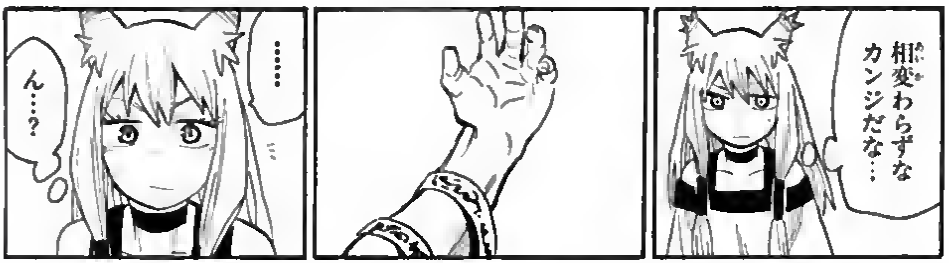
全ては正義のため

断怪衆とは我が拳の的を示す標だ

たまさんは討たれるべき"悪"などではありません!!

我が標に歯向かった者には制裁を加えねばならぬ

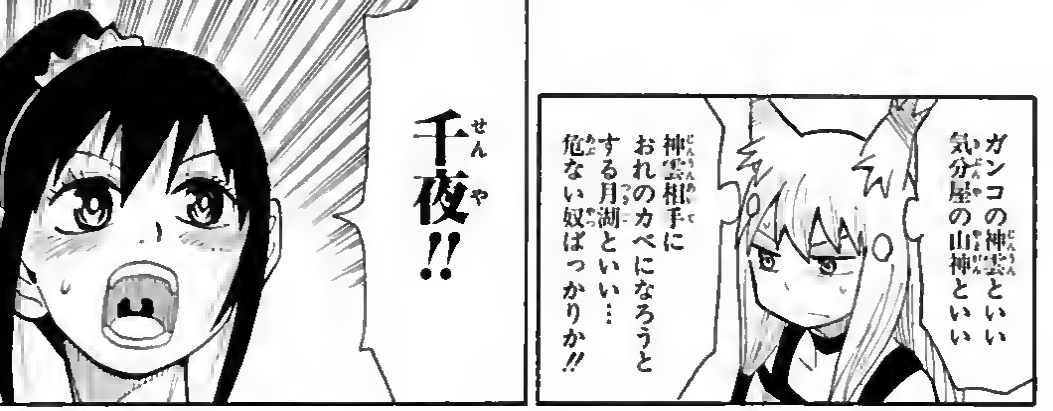
人の世に断怪衆あり
と闇の世界に知らしめる
のだ
闇達が
人に仇なす気
など微塵も
起きぬよう
畏怖を以って
悪を制す


相変わらずな
カンジだな…
……
ん…？

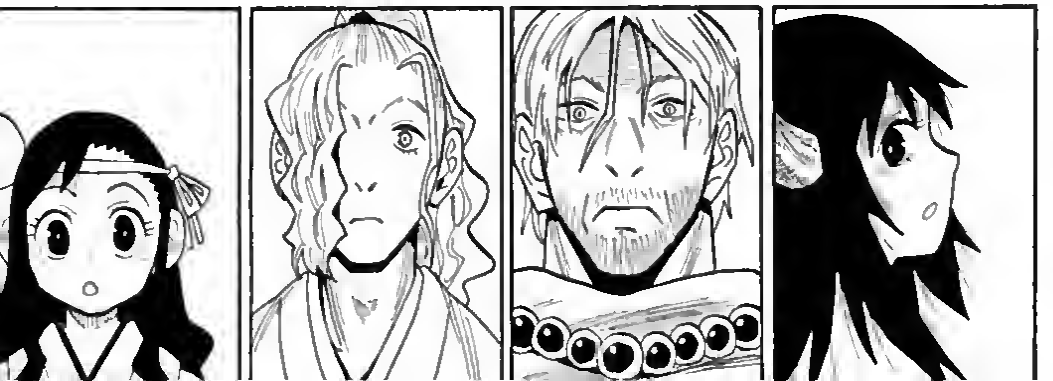
!!
たまさん!!
私の後ろに…
ちょ
バカ言うな
逃げるぞ!!

ちょ…
いやあ
ダメそうだねえ
本気で説得する気
あった？千夜くん
!!

まあ とはいえ
神雲くんに
断怪衆を辞めて
ほしいのはぼくだし
理由も
ぼくの理屈だから
難しいよねえ
また
我が道を
阻まれるか
山の神よ
説得できなきゃ
再封印と
昨日ぼくは
言ったけど
やっぱり今度は
殺しちゃった方が
いいかな
面倒臭く
なっちゃった
……!!
……!!


ガンコの神雲といい
気分屋の山神といい
神雲相手に
おれのカベになろうと
する月湖といい…
危ない奴ばっかりか!!
千夜!!

千夜の気持ちを
ちゃんとお父さんに
ぶつけて!!
千夜はどうしたいの!?
お父さんにどうしてほしいの!?



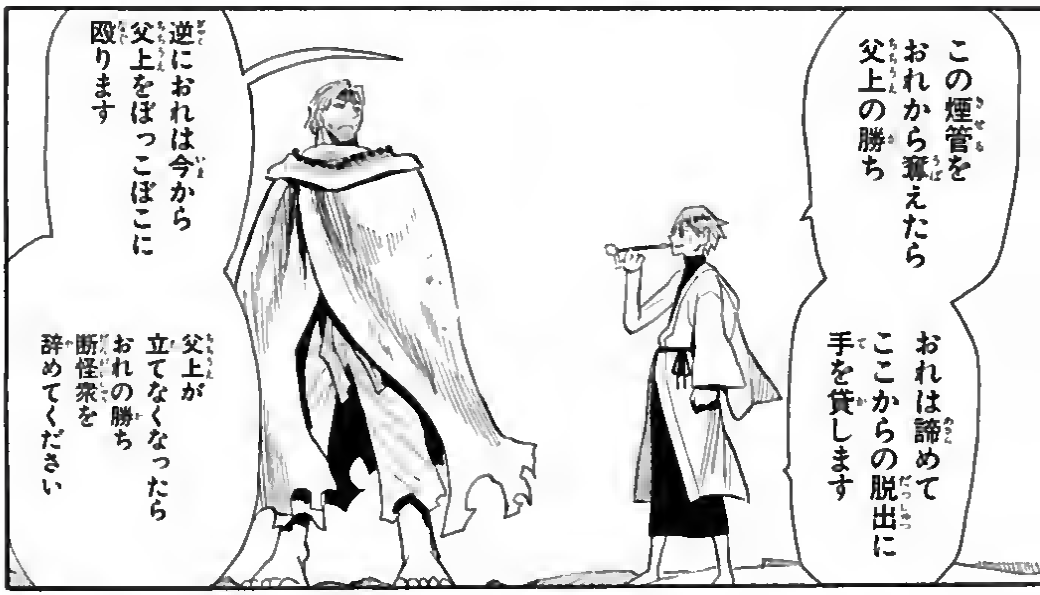
父上
おれは断怪衆ではない
今の自分が好きです
父上がよく言う
「正義」というものは
今のおれには
よくわかりませんし
子供の頃のおれには
少し怖くて重かった
修行をつけて
もらうより
遊んでほしかった

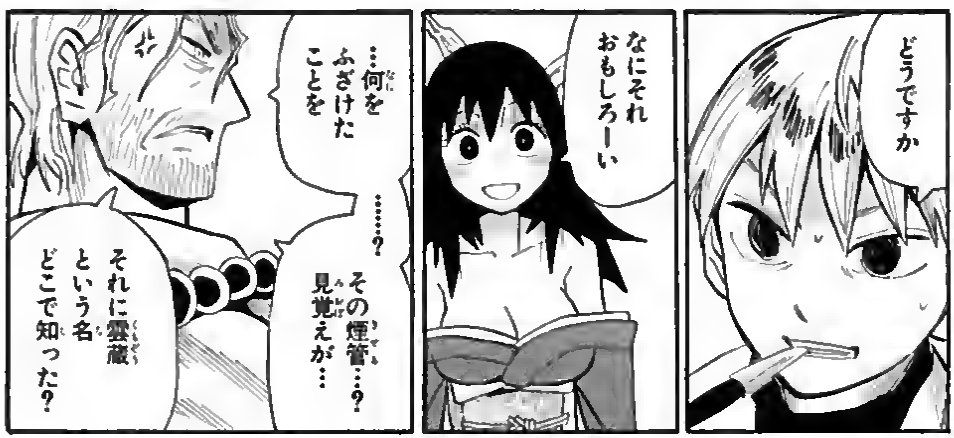
でも将軍様やしんすけがおれに色んなものをくれた
おれは色んな人のおかげでおれになれました
断怪衆は父上の正義は
父上を本当の自分にしてくれましたか？

断怪衆の神雲
それが私だ
他の何者でもない
…へへ…
へへ…
ごご
…神雲ね…
!?

ちょっとおれと遊ばないか？
雲蔵

な


この煙管を
おれから奪えたら
父上の勝ち
おれは諦めて
ここからの脱出に
手を貸します
逆におれは今から
父上をぼっこぼこに
殴ります
父上が
立てなくなったら
おれの勝ち
断怪衆を
辞めてください


どうですか
なにそれ
おもしろーい
…何を
ふざけた
ことを
……？
その煙管…？
見覚えが…
それに雲蔵
という名
どこで知った？

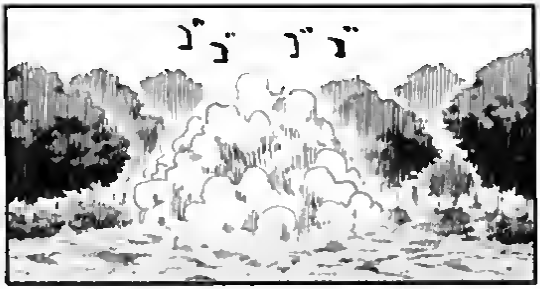
教えてやーらない
べー
ふん
ビキ
ビキ
ビキ
ふへっ
へへ…
へ…

こ―の
ガンコ
親父(おやじ)ッッ!!

うおおおお
千夜あああ!!
最ッ高だぜええ
スカッとした!!
スカッとしたー!!
しびれる!!
憧れる!!
一生ついてく!!
龍めざまみろ
怖くねーそ
怖くねーそ!!

さあ!!
勝負だ父上!!
遊び方を
教えてやる!!

ムクリ
ガンコ親父だと…?
遊びだと…?


ゴゴゴゴ

せ 千夜の奴
変じゃないか?
かっこいい…
え!?

よかろう

ビキ
ビキ

正してやる
不良息子

煙管など
要らぬ
こちらも
お前が立てなく
なるまで殴らせて
もらう

父上は煙管を
持つくらいの
遊びを知った方が
いいですよ

ぬかせ
すっ

…あっ…あ――！
思い出したっ!!
左腕ッ!!

8年前
神霊は迅火との戦いで
五行魂と撃ち合って左腕を失ったはず…!!
なぜ今ある!?

生えた

生えんな!!

第60回／完

う
おおおッ!!

うらぁ――!!
まともに入ったァ!!
……
ふむ
カリ…
いっ!?

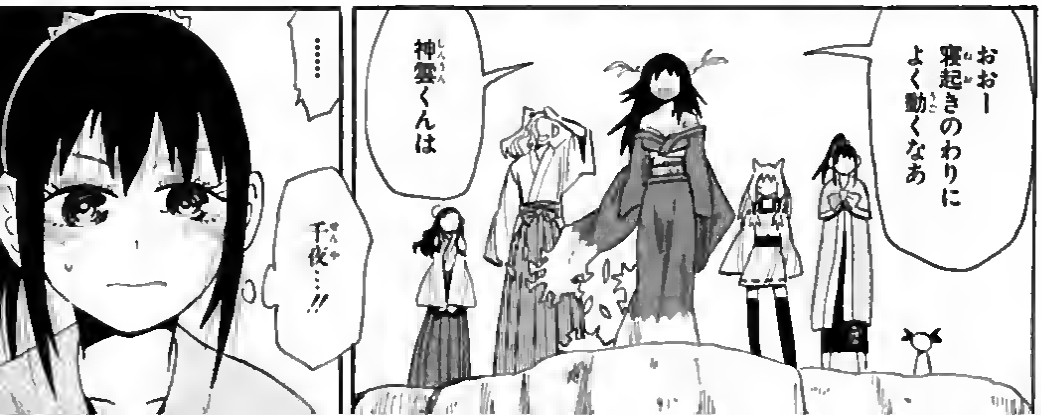
わああ
……!!
千夜……!!
こっちおいでー
おーい
も少し離れて見よう

息子よ
弟子よ

ゴゴゴ
ゴゴ
ガラ
ぐ…っっ…
ゴゴゴ
千夜
手加減は無用だ本気で来い
や…結構本気で殴ったんだけどな

第61回 千夜の8年

やばい…
ガラ
開達は今のでヒビったんじゃ…
やるなー
もっかいデカイ斬で殴るか?
刃つかえ
刃
いや千鬼夜行だ
真鍮天だ
心配ないか
行くぞ!!
みんな!!


おおー
寝起きのわりに
よく動くなあ
神雲くんは
……
千夜…!!

！
ぐ……

疾い!!
重い!!
鋭い!!
近距離の
乱打戦は
ダメだ!!
技も力も
あっちが上!!
防戦一方で
削られる!!

ドン!!
ん
!!

おおお

短期決戦!!
千!!
最大火力で
畳みかける!!
鬼!!

夜…
ドゴ…
ガラ…

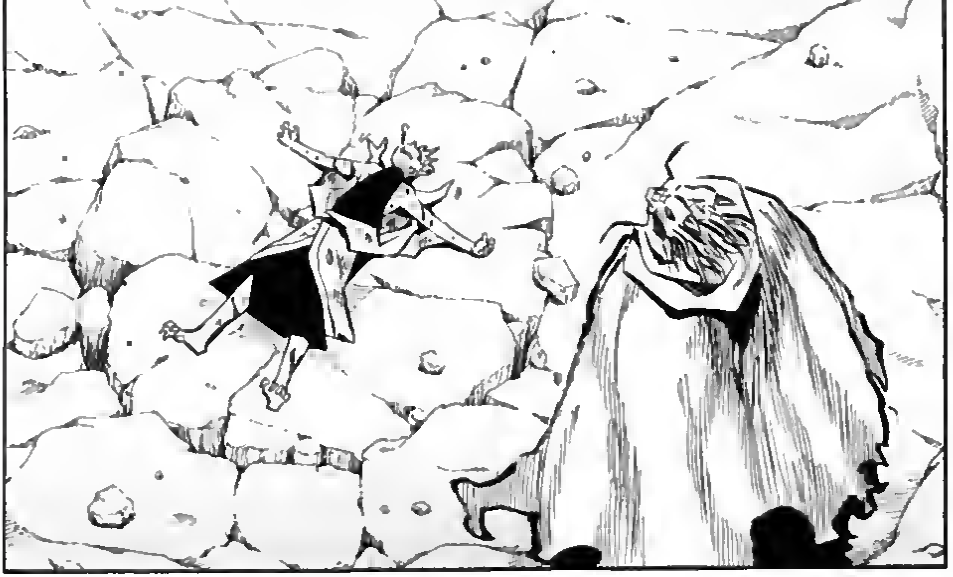
千夜!?
なっ…
あのデカイ人
デカイのに
身軽ですねえ
そーだね
大した
もんだ
うわー…

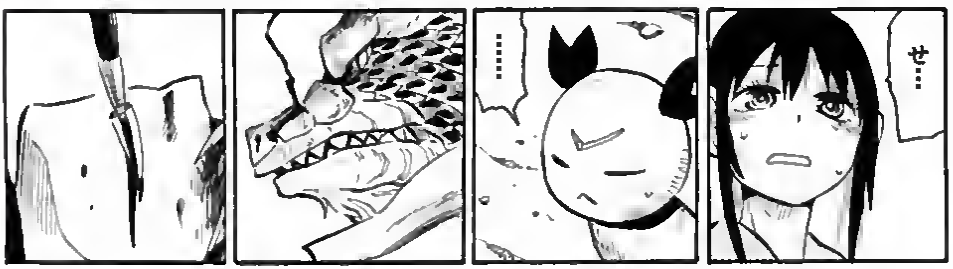
ぐ…
千鬼夜行が
潰された…!?
…どうした
千夜?

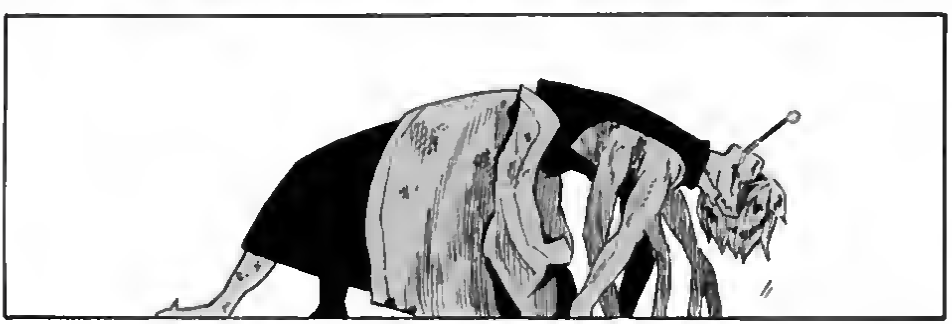
早く
本気を出せ

……
……!!

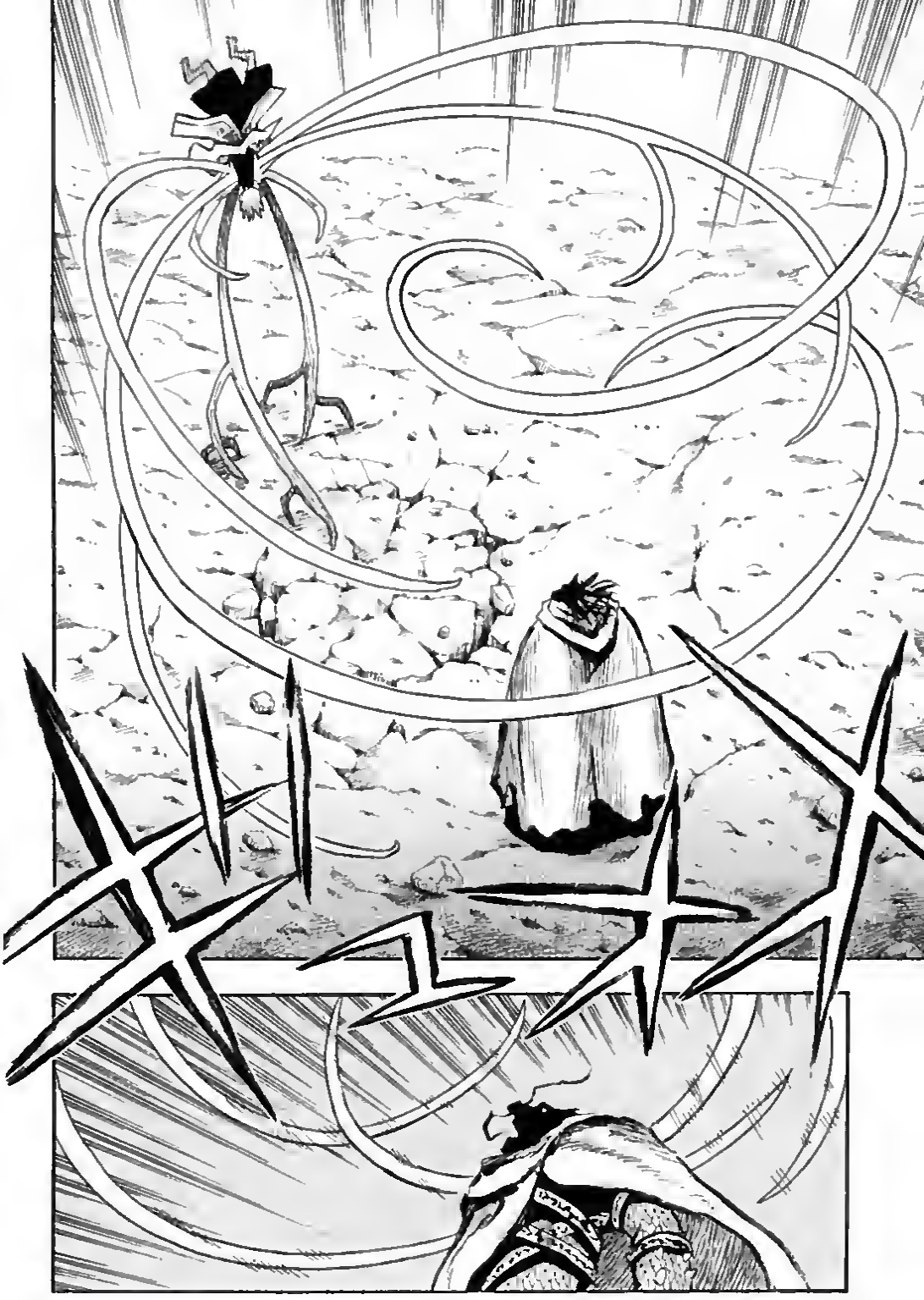
8年の封印から目覚めたばかりだというのに
あの動き 霊気の練り
やはりぼくの見た所現時点で人類最強
今の千夜くんでは分が悪いな
……
千夜は負けねー
なう…
千夜は負けねー!!
うおおお!!




……
せ…

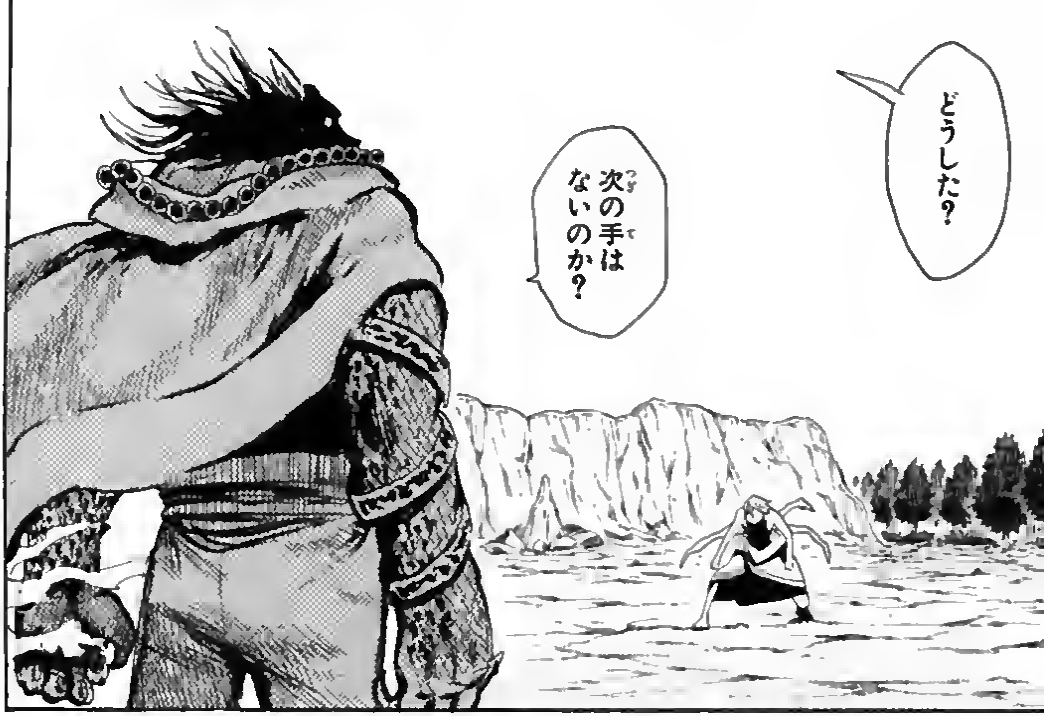


いくぞ!!
全ッ開だ!!



うおおお!!
轟
震
軍!!

ふむ
今のは
なかなか
ゴゴゴゴ
……!!
おいおい
いくらなんでも
硬すぎねーか
ムドだって
喰れば
効いたそ?
又上の技 破軍掌だ…
霊気を集めた掌底を
防御に使ったんだ…
ジュ
それにしたって
四方八方から
浴びせた霊力線を
片手で掴みとるか?
フツー
神業だな


どうした？
次の手はないのか？

…千鬼夜行だ
えっ!?
さっきは撃つ前に潰されたが次は当てる!!

龍を乗り越えたおれたち全員の力だ
父上もそれで乗り越える!!

…そろそろ終わらせよう
…断怪衆を抜け戦いから遠ざかったのなら仕方ないが…

残念だ
8年間 お前は少し怠けていたようだな

来た!!
破重撃だ!!
おれの…
おれ達の…!!

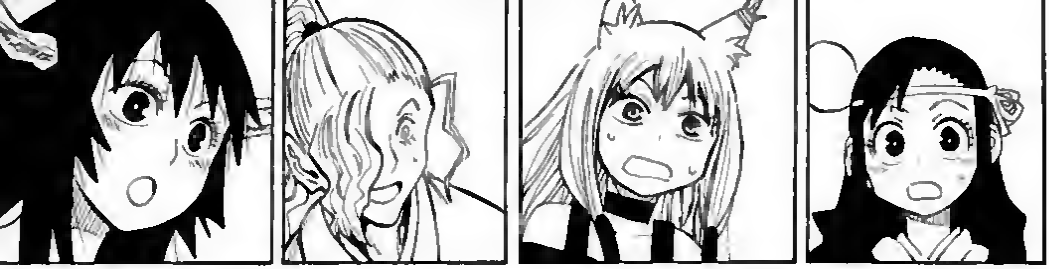
千本の矢!!
片手でさばき
切れるものなら…

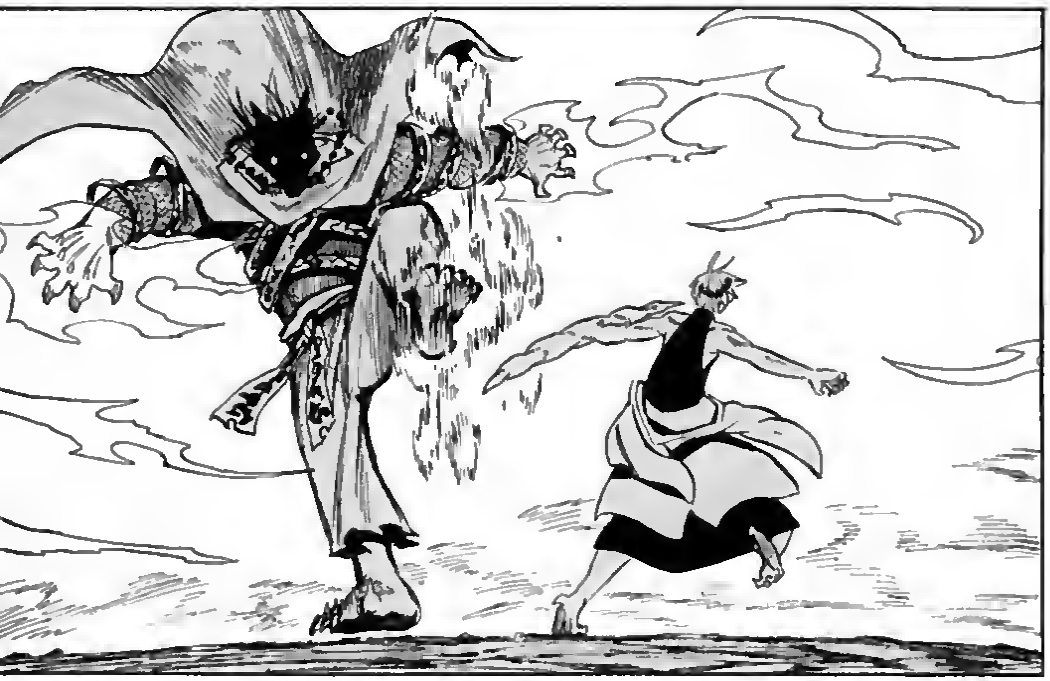
千鬼夜行!!

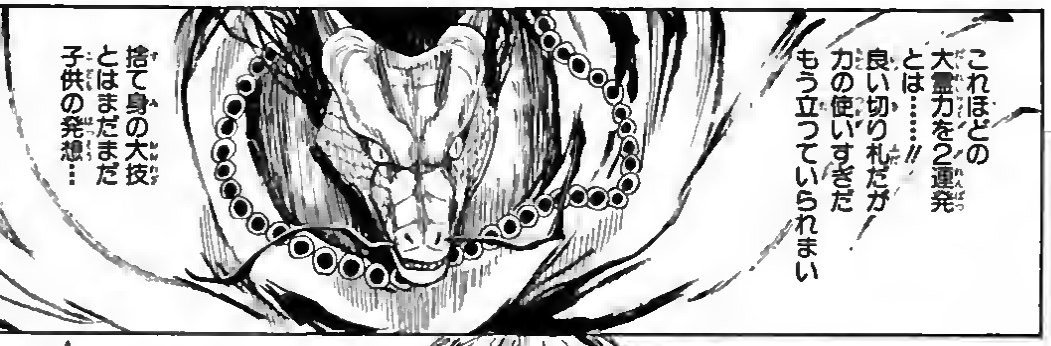
よし!!
ギリで先手…
破軍
な!?
双掌!!

ぐうううう!!
千鬼夜行・連弾!!

魔海…
ッはあああ!!
龍塵脚!!






これほどの
大霊力を2連発
とは……!!
良い切り札だが
力の使いすぎだ
もう立っていられまい
捨て身の大技
とはまだまだ
子供の発想…

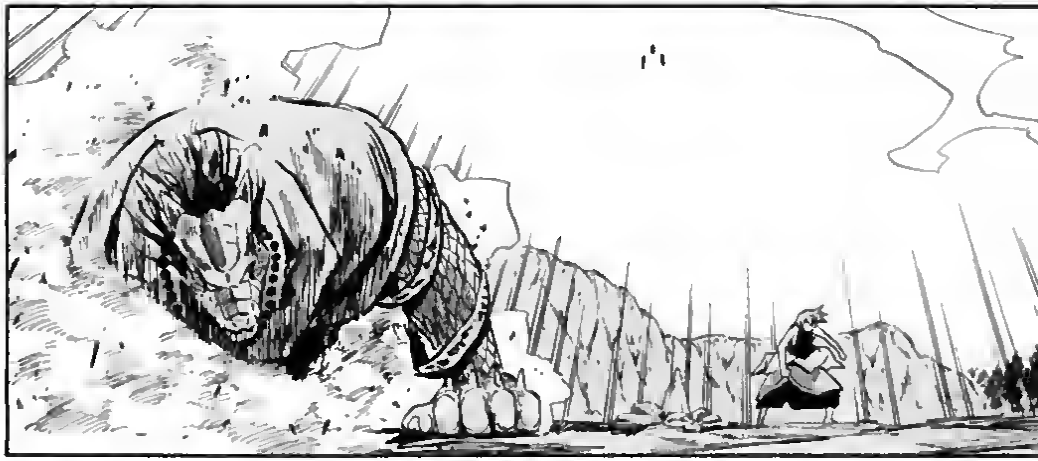
……!?

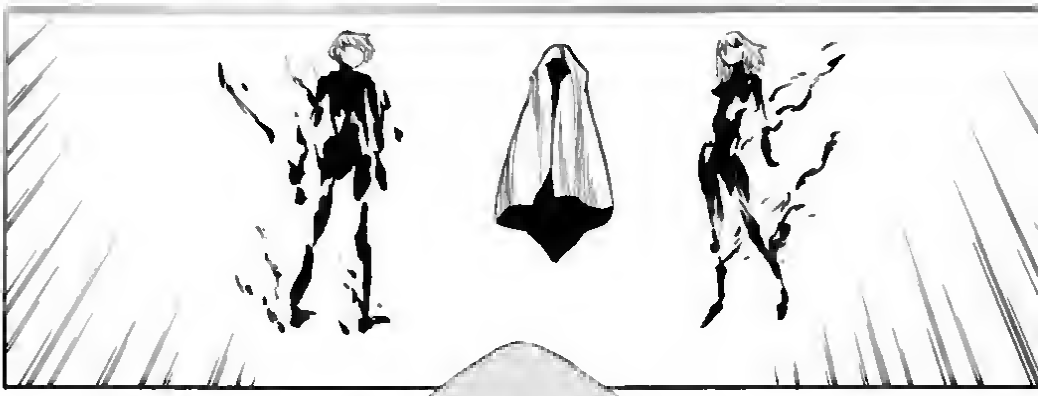
な
千鬼夜行(せんきやこう)。

三銃士Ⅱ

三発目!?
なんという霊力量!!
なんという発動速度!!
これが
お前の8年…
!?
そして
これがオマケの

息子拳骨
ま
また動けるとは…





第61回／完

はー
はー

第62回 幽界の龍

千夜…

千鬼夜行…ね
あんなのを
三連発も
できるとは
華寅も
容赦ないしごき方
をしたね
同情
するよ
3日に一回
千鬼夜行を
2発空に撃って
空っぽのヘトヘトに
してから
華寅さまとの
実戦訓練で
殺されかけたり
してました
ああ
前に村寄った時
してたな そんなこと
あっ

第62回 幽界の龍

……

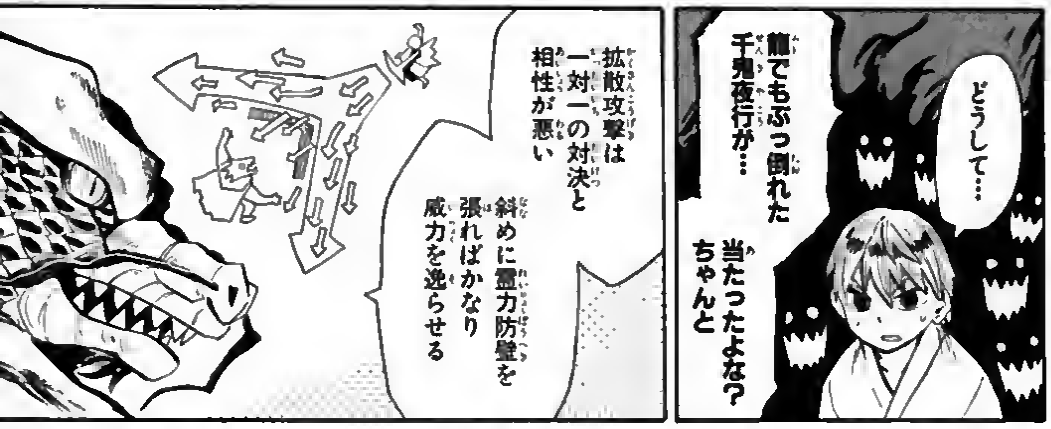
う…

そんな…
立った…

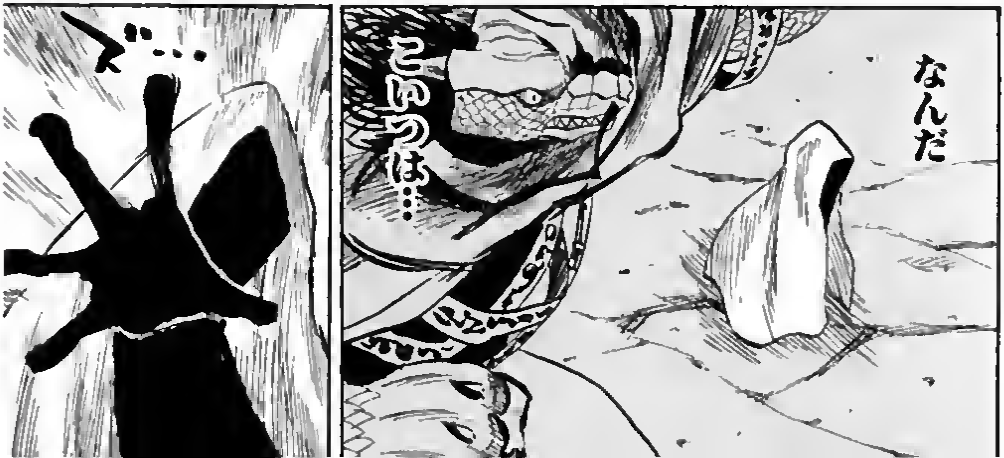
わー

すごい
なー

なるほど
そう伸ばしたか
怠っていた
わけではなかった
ようだが
詰めが甘いぞ


どうして…
龍でもぶっ倒れた
千鬼夜行が…
当たったよな?
ちゃんと
拡散攻撃は
一対一の対決と
相性が悪い
斜めに霊力防壁を
張ればかなり
威力を逸らせる

あの一瞬で
防御を?
マジ?
いや…無理な体勢での
術式発動だ 完璧な
防御ではなかったはず
絶対に効いて
いる!!
さらに
攻めるぞ!!
まだ向かって
来れるか…
よかろう…!!
なんという
気力…!!


なんだ
こいつは…
ズ…!

な…
に…

無の民!!

な…

止まんな千夜!!
速攻だ!!
わ…
わかってる!!
幽界
干渉!!

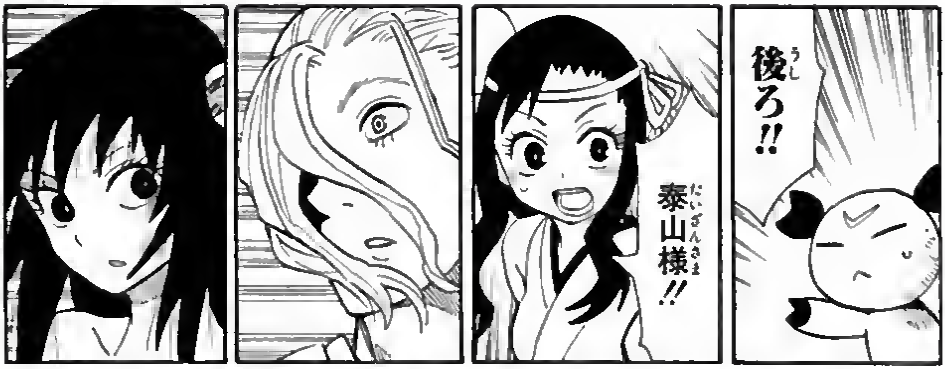
！
ぴく

ちょ 待った!!
千夜に
任せろ!!

あれは幽界干渉
といって
無の民の土俵である
精神世界に入り込んで
千の間違の数の力で
優位に立つ術です

千夜が必ず
なんとかしますから
待っててください

あー
そういう術
だったんだね
ほう
それは…


後ろ!!
泰山様!!

しまっ…

……
ここは…

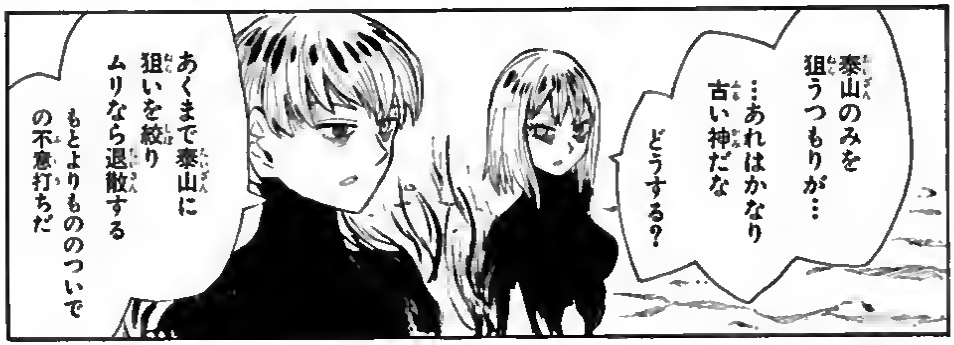
父上!!

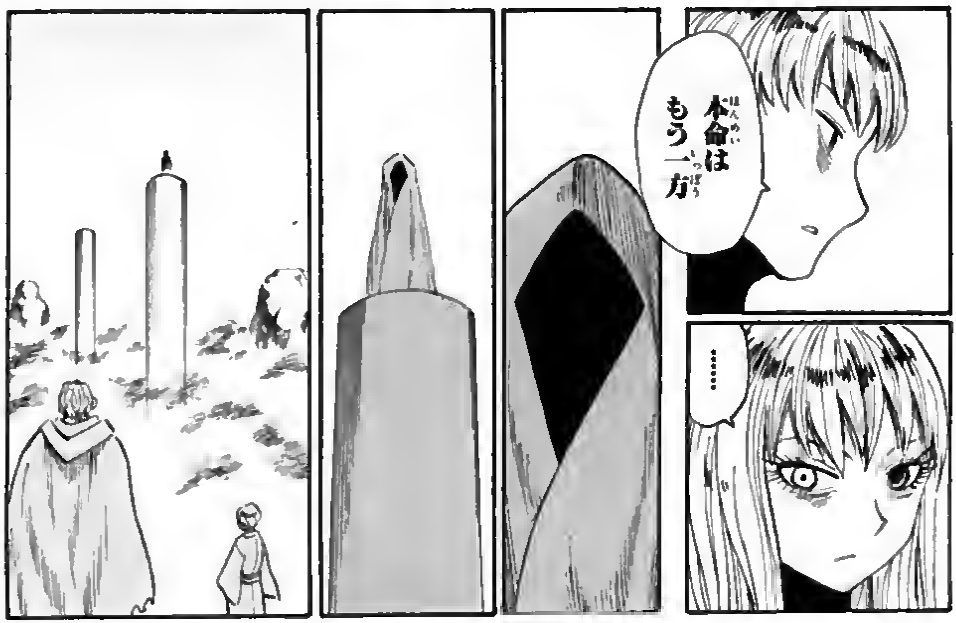
ご無事で
千夜
なぜ子供の姿を…

気にしないでください
ここは幽界です

幽界だヒ？

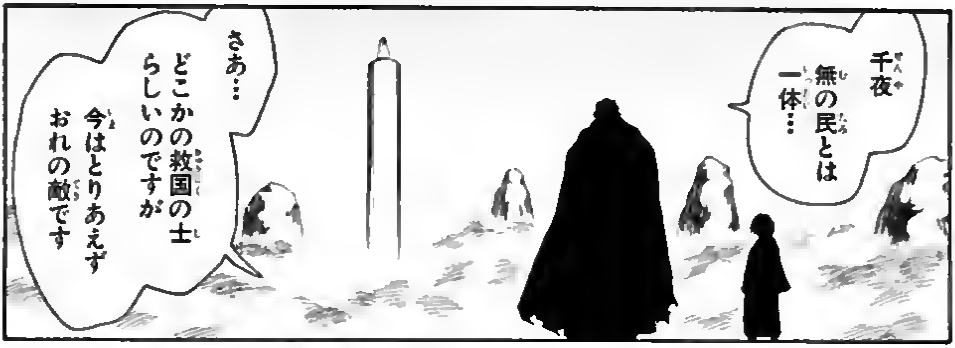
姉上！
間に合ったね
月湖ちゃんの説明によるとここでは霊力より「意識の数」が重要みたいだが…
2対2か…まあなんとかなるだろう


泰山のみを狙うつもりが…
…あれはかなり古い神だな
どうする？
あくまで泰山に狙いを絞りムリなら退散するもとよりもののついでの不意打ちだ


本命はもう一方
……

どういうことだ
千夜
あれを見てください
奴は幽界の精神戦で他者の意識を乗っ取り狂わせる者
無の民です
ヴッ

子供？
銀髪・妖精眼だと…!?
！
いつもの二人じゃない……？


千夜
無の民とは一体…
さあ…
どこかの救国の士らしいのですが
今はとりあえずおれの敵です

にや
トン

まあ
幽界ではおれ達に敵う者は居ませんけど

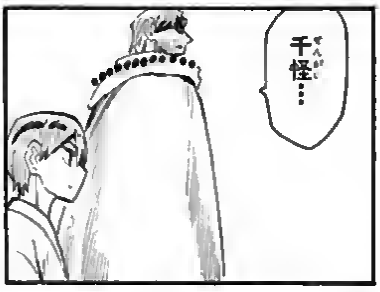
なっ…雲の中に……龍……!?
うわっ〃でけー
…まさか…

ぬううう…
誰だ…
我が眠りを
妨げる者は
……
野神…
黒月斎…
どこへ行った…

あれは我が身に
棲まう龍 ナダレ…
僧正・野神様と
その友・黒月斎殿が
協力し封じたと聞いている
これほど大きな
龍だったとは…
無の民の精神戦の
一端の印象操作
かもしれません

あと野神様はもう
僧正じゃないそうですよ
なに？
黒月斎…？
聞きおぼえが…
おれらを雇って
びびらそーって
んじゃねえの
どうかな…
…仕掛けて
こないな…
ふふふ

こんなバケモノを
体に移植するなんて
ひどい外法を思いつく
外道も居たもんだね
なんて時代だ
！
まあそのお陰で
「千怪の宝玉」が生まれたから
ぼくらとしては
ありがたいんだけどさ

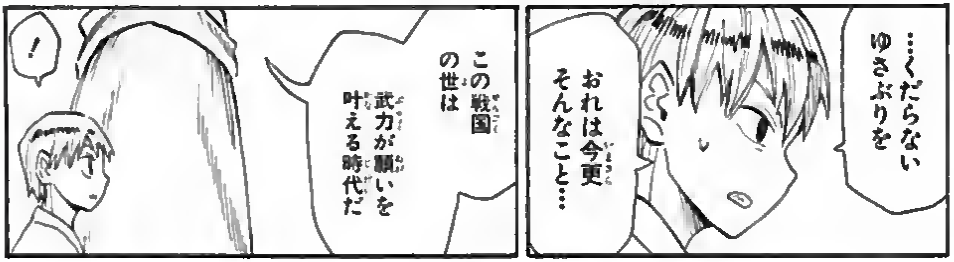

千怪…

千夜の闇遣の
核のことか？

はい
…これが彼らの
狙いです

神雲さん
だっけ？
千夜のお父さん
どんな気持ちで
千体のバケモノを
幼い息子の中に詰め込む
ことを許したんだい？
……
！

ねえ千夜
覚えてる？
きみはどんな
気持ちだった？
無数のバケモノを
入れられた時は
非道いことを
する親だよねえ
子供の人生を
なんだと思ってるん
だろうねえ


…くだらない
ゆさぶりを
おれは今更
そんなこと…
この戦国
の世は
武力が願いを
叶える時代だ
！

…息子には
自らの手で
自らの理想を
掴める力を
与えて
やりたかった

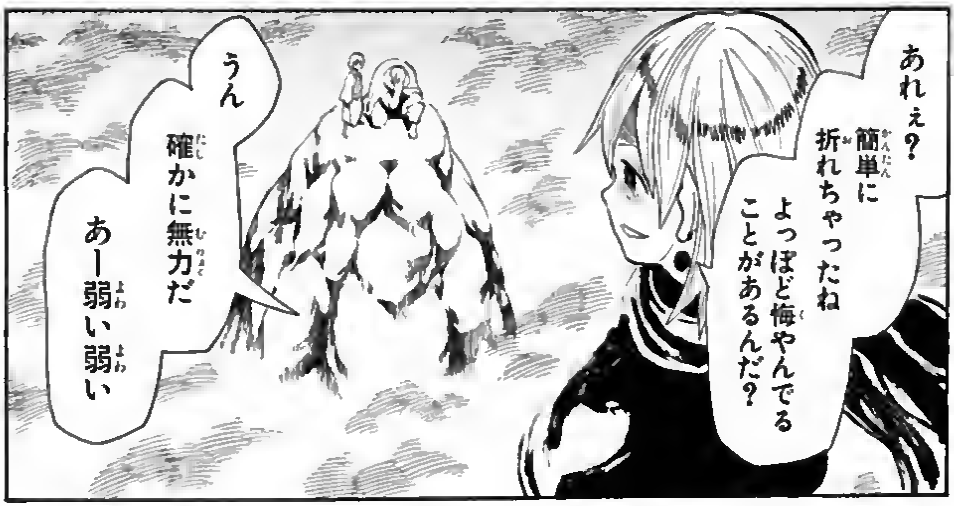
歪んでるね
あはは
私は
マジメだ

この子には
愛する者を守れぬ
憂き目に遭って
ほしくない
この子には欲しい物を
手にいれられる機会を
与えたい
力無き者は幸せに
なれぬ時代なのだ

…父上…
神雲さん
あなたは
人の中で
ほぼ最強だ
あなたは
その力で幸せに
なれたのかい？

……いや…
すまぬ千夜
私は
お前の母を
守れなかった

は？
え？
ははっ…って
母上？
それって…
私は最強などではない…
無力だ……


あれぇ？
簡単に折れちゃったね
よっぽど悔やんでることがあるんだ？
うん
確かに無力だ
あー弱い弱い

じゃあその体
ぼくにちょうだいよ
神雲さん
今よりもーっと強くしてあげるよ

もう
黙れ
ここから
出ていけ!!
百万鬼夜行!!

出たな
切札
しかし…
いかなる者も
これには勝てない!!
あらゆる文明・時代に
共通して崇拝される
神話の主神…

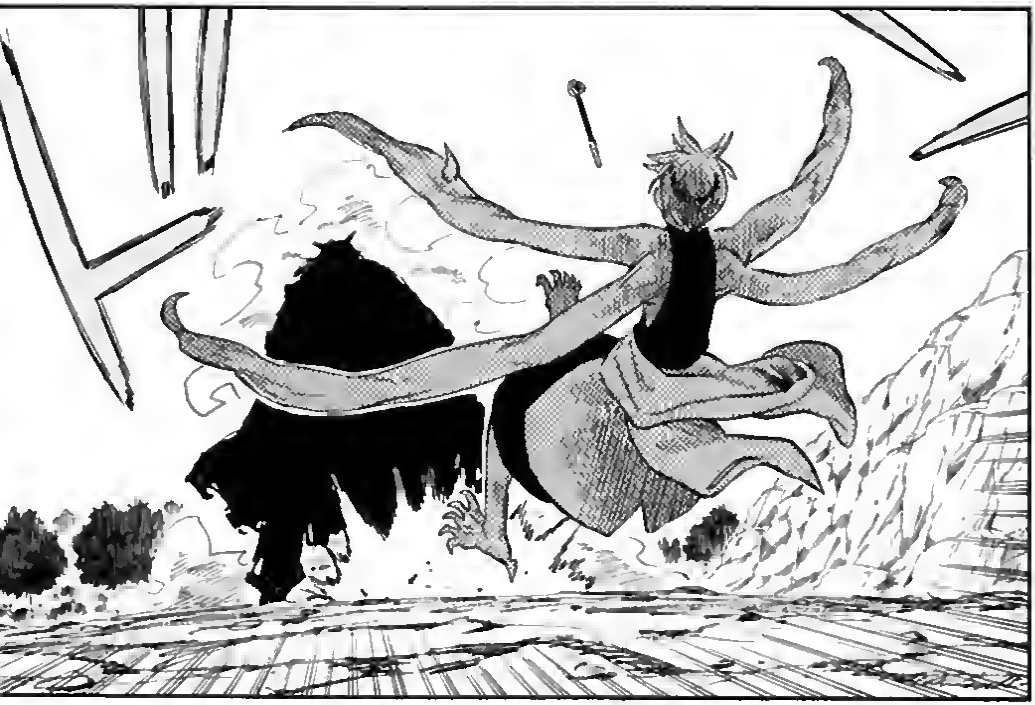
太陽神
アマテラス

締めたか
ヌシ様
泰山様
ご無事で…
あいつらどういうわけか
姉上には手を出せない
みたいでしたね

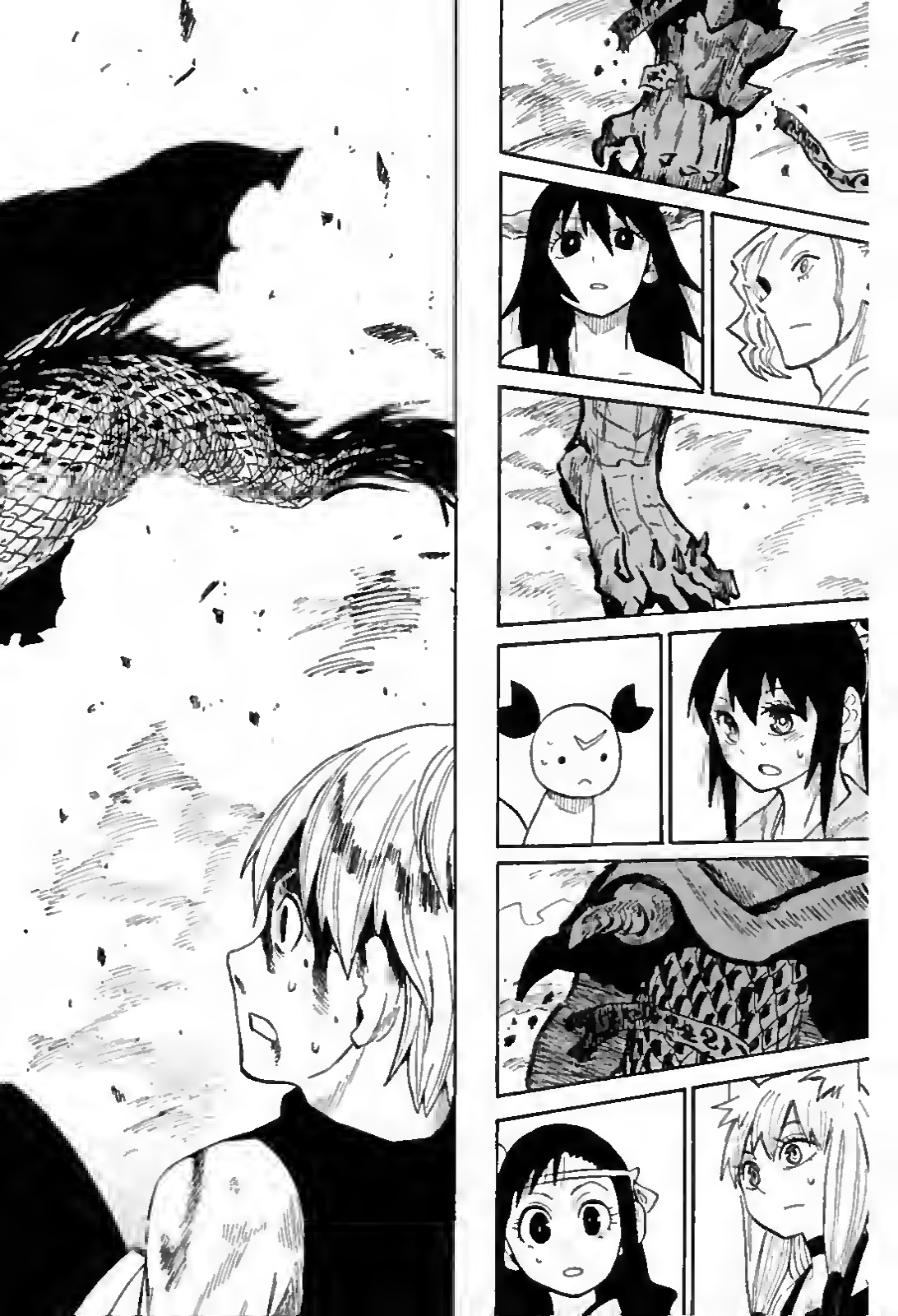
え
手が出せない…？
どういうことだ？

失敗か
仕方ない
片方は潜るには危険な相手
戦いづらすぎる

さて
あちらは…
千夜…!
幽界の千夜は
無敵だなう
心配は…



ズガァ
ぐっ
なっ…
千夜が
弾かれた…!?
……



どうだい ナダレ
今の気分は

キミこそ 真に強き者

龍神王を名乗るに 相応しい

私は お前の母を

ち…

父上…？

第62回／完

第63回 左道

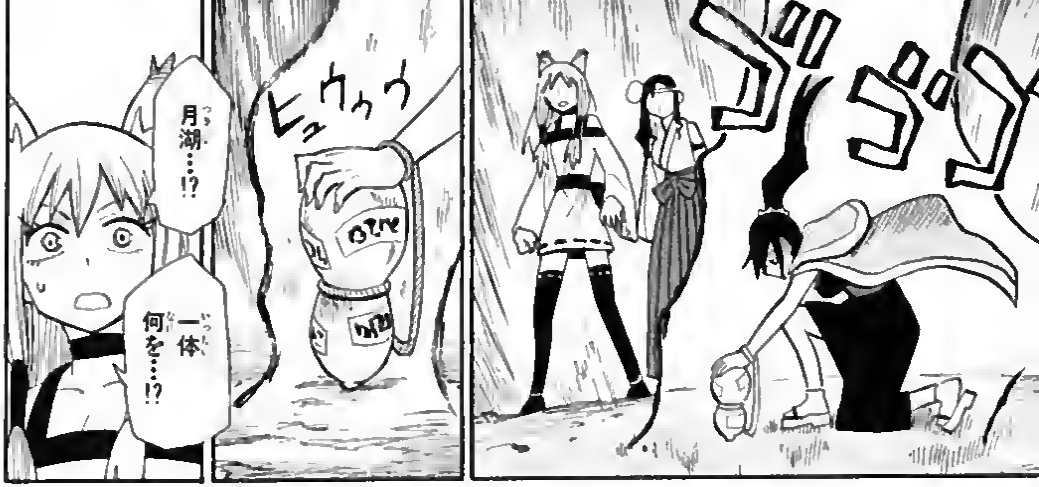
…父上……？
行こう
ナダレ
この山から
出るんだ
……
……
！
撤収だと!?
何故だ!?
千夜が目の前に
居るのに…
焦っちゃダメだよ
ここは退く場面さ
だってホラ
！

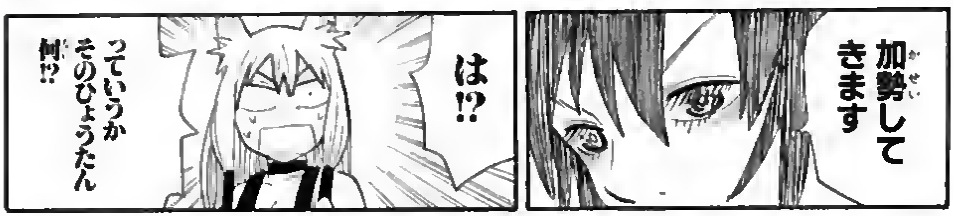
ぼくの恩人・千夜くんの大事な講義に水を差すなんて
許せないね
ぼくの庭でなめたマネをしてくれるね
逃がさないよ
ゴゴゴ
ゴゴゴゴ
あらら
なんじゃありゃ…
地形ができた…
千夜も巻き込まれたんじゃ…
千夜は無事なう
……

ぐっ…
っっ…
ち…
父上…

ゴ ゴ ゴ ゴ ゴ
かわした…？
完全に埋めて
やったと思ったのに…
千夜くんの
安全を優先したから
ちょっと甘かったかな
よし
いいぞ
ナダレ
逃げろ!!
逃がすか

あれが
地神の力…
神霊さんの
体も戦って
ボロボロのはず
なのに…
すごいですね
う
ぶるる
なんだこの
寒気…
あれ？
なうが
いない…
おい月湖
なうは…
ズズズ
…月湖？


ヒュウゥゥ
月湖…!?
一体何を…!?

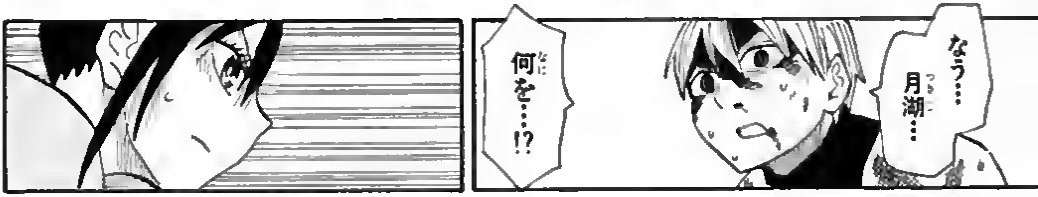

加勢してきます
は!?
っていうかそのひょうたん何!?

ただの左道です

霊符…!?
いってきます
よせ 月湖!!
なっ!!
月湖!!

周囲の木が枯れた…!?
まさか…
!

!


なう…月湖…
何を…!?

古い方の神が
接近して
押してくる…
逃げ切れ
ないか？

進行方向を
おさえた!!
捕獲！
くっ

ドゴッ
ダン
ニヤ
転進!?
向かって来ただと!?
……!!!

ヌシ様!!
姉上!!
な…
なう
山神さまを
おう

よ…
せ…
やめろ
月湖!!
あたしは…
あたしが…
千夜も
千夜の大事な
ものも守って
みせる!!
お願い
お父ちゃん…
力を貸して!!
射叫!!
雷撃!?
ナダレ…
全、避雷

雷が逸れた!?
避雷の霊符…!!

すごいや
ナタレ

ナダレとは
龍の名か？
ということだ
龍が武術や霊符を
使いこなしているだと？
これはただ
狂わされただけ
じゃない…
それと月湖ちゃんの
あの異常な力は
まさか…
ならば…
符が尽きるまで
撃つだけ!!
千夜の
お父ちゃんを
返せ!!

雷使いか
いいね
きみもぼくらと
おいで

月湖!!

……!!
これが…
無の民の空間…

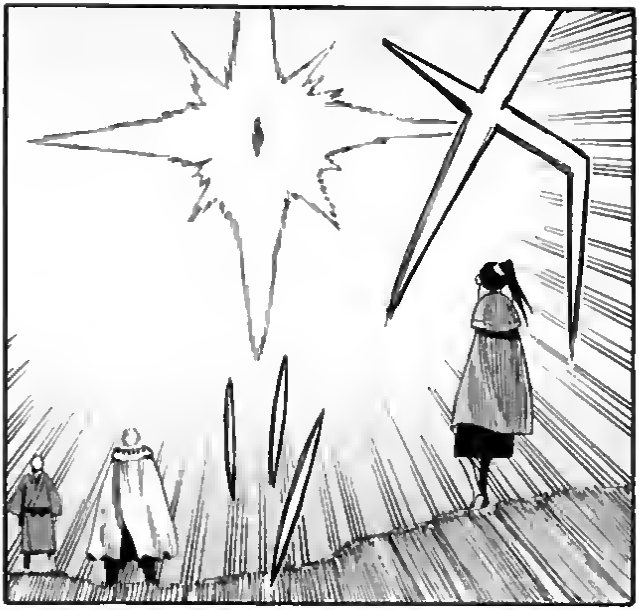
幽界の行き来は
しんすけ先生や
華寅様に多少は
習ったけど…
そんなに得意
じゃない…
どう戦う…!?
やあ
!
今からキミの
心を折る

キミに想像できる
最高位の存在の姿を以って
ここで負けるわけには!!
負けてたまるか…!!
考えろ!!
考えろ!!
考えろ!!
考えろ!!
……
強い娘だな
えっ?
神雲!?
なぜここに…

彼が私を呼んだ
よう
月湖
・・・お父ちゃん…？
なんで…？
さっき呼んだろ
お父ちゃん力を貸してって
今回だけじゃない
心の中でお前がお父ちゃんって呼んでる時はいつも来てお前の心を支えてきた
心の世界はそういうものみたいだな
いつもあの世から見守ってるよ

余計なものも
一緒に引きずり
込んでたか…
だが

太陽神で
まとめて
ひれ伏させてやる
己が信仰に
敗れよ!!

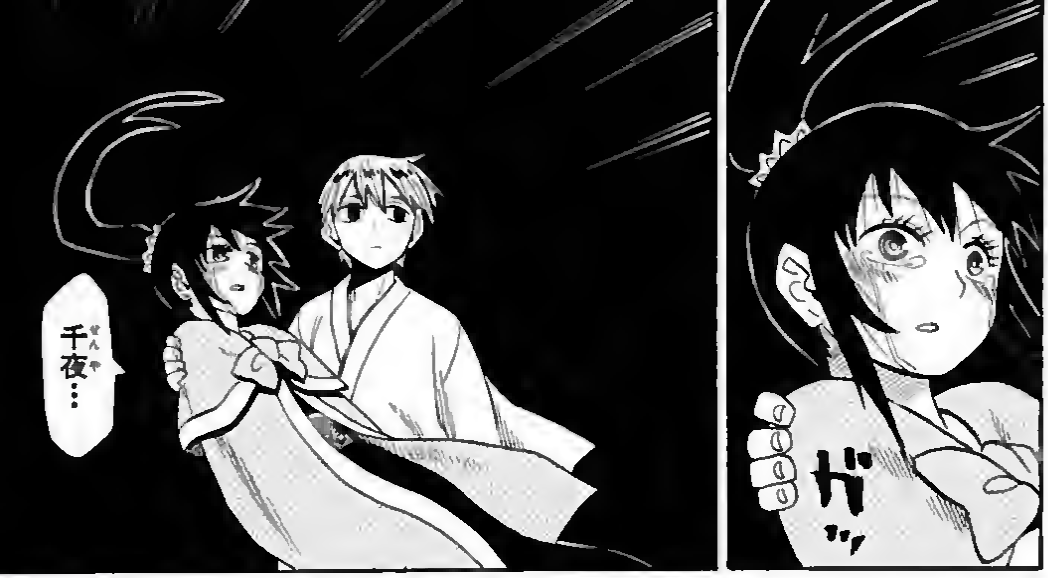


神雲!!
そちらから
押せ!!
こちらから
引く!!
えっ!?
今の声…

お願いします!!
ええ
お父…
!!

神雲さん!!
お父ちゃ…

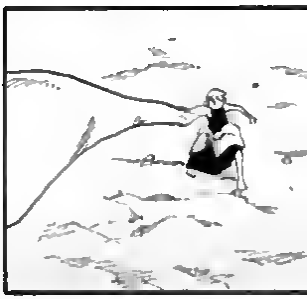
息子をよろしく
お願いします


千夜…
ガッ

ごめん あたし
千夜のお父さんを助けられなかった…
いいよ
月湖が無事で良かった
お父ちゃんが…
お父ちゃんがいつも私を守ってくれてた…

やれやれ
世話の焼ける弟子じゃ

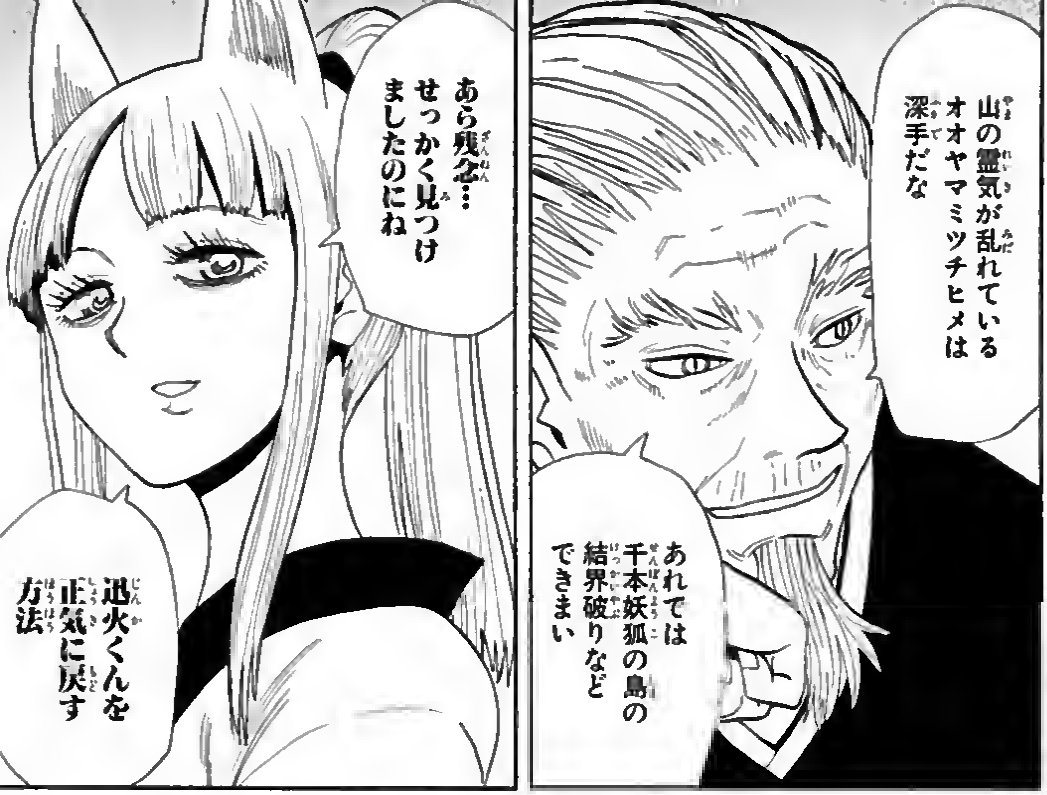
届いた…

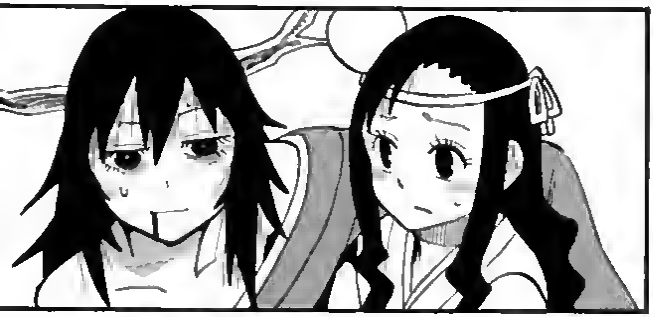


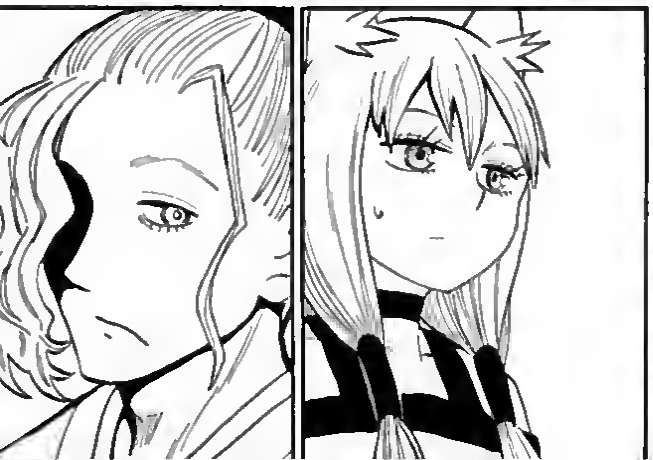
すたっ

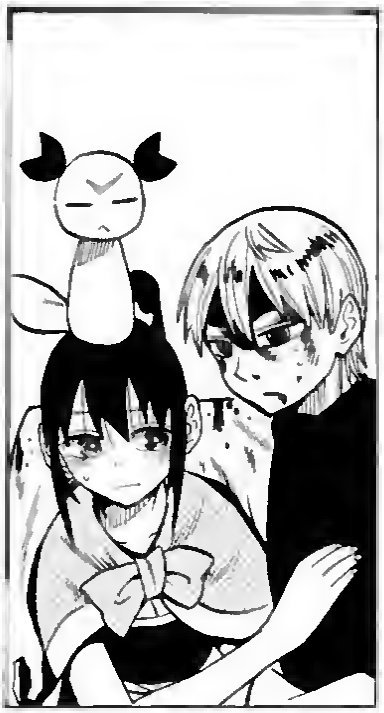
……
ガチ
バッ
逃げられたか…
なんてやつだ…
……
ヌシ様!!

おーおーおー
なんか大変なことになってんじゃねえか
あらあら
楽しそうでございますこと
野禅さま
まーなくずのは


山の霊気が乱れている
オオヤマミツチヒメは深手だな
あれでは千本妖狐の島の結界破りなどできまい
あら残念…
せっかく見つけましたのにね
退火くんを正気に戻す方法







ん？
どうした？
いや…龍の気配がしたような気が…

ほう お前と同じ龍が近くに？
我が弟子よ
いや 気のせいかもしれねぇ
それより早く行こうぜ師匠
ハラ減ったぜ

戦国妖狐11 おわり

戦国妖狐
第11巻

作画スタッフ
　蝶田じゅえる
　臼井仁志
　相模 映

タイトルロゴ
　赤羽美保

カバーデザイン
　行徳ゆみ(オン・グラフィクス)

担当編集
　宮本幸則